

ニ照シテ處斷ス

一重罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二輕罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三違警罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

被告人ヲ陷害スルハ曲庇スルヨリ其情重シ何トナレバ無辜ヲ陷シ容ル所爲ナレハナリ

第二百一十一條 偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽證者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ例ニ照シテ處斷ス

其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スヲ得ス

本條ハ前條ノ偽證カ其効ヲ得テ被告人偽證ノ爲メ刑ノ宣告ヲ受ケタル以後ノ場合ヲ云フ反坐トハ偽證ノ爲メ刑ニ處セラレタル者ノ刑期ヲ偽證シタル者ニ責任セシムルヲ云フ

第二百二十二條 偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス

若シ被告人ヲ死ニ陥ル、ノ目的ヲ以テ偽証ヲ爲シタル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ス

死者ハ復タ生スヘカラサルノ原則ナレハ人ヲ死ニ陥ルハ道義及
 ヒ社會ノ害之ヨリ甚クシキハナシ凡ソ偽證ヲ以テ巧ミニ刑アル
 事證シ之ヲシテ裁判ヲ誤マラシメテ遂ニ被告人ヲ死ニ致スハ亦タ
 其所爲自カラ直接ニ人ヲ殺害シタルニ異ナルコトナキ理ナリ之ニ加
 フルニ法庭ヲ煩雜ナラシムルノ所犯ヲ以テセハ其罪法律ニ於テ須
 ラシ重大ナラサルヘカラス

第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲ爲シタル
 者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰
 金ヲ附加ス

民事商事又ハ行政裁判ニ關スルコトハ概テ財產又ハ權利義務ニ係ル
 モノナレハ之ヲ刑事ノ身体性命ニ於ケルニ比スレハ公害ノ淺深ア
 ルヲ以テ刑ノ輕重ヲ異ニセサルヘカラス

第二百二十四條 鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所ニ呼出サレタル者詐
 偽ノ陳述ヲ爲シタル時ハ前數條ニ記載シタル偽証ノ例ニ照シテ
 處斷ス

鑑定人通事ハ治罪法第百五十七條及ヒ第百九十三條ニ於テ愛憎ノ
 心ナキコトヲ宣誓セルモノナリ然ルニ是等ノ者詐欺ノ陳述ヲ爲スル
 ハ其宣誓ヲシテ無効ヲラシムルモノナレハ則チ前數條偽證ノ例ニ
 照ス所以ナリ

第二百二十五條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽證又ハ詐
 偽ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル者ハ亦偽証ノ例ニ同シ

第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁判
 宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス
 一旦偽證ヲナスモ其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ其事ノ惡

業タルコトヲ悔悟シテ自首スルハ其害ノ及フ所ナシ故ニ本刑ヲ免
スルモノトス而シテ本條ハ總則自首減輕ノ例外トス

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シテ販賣シタル者ハ二
年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス但官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各
本條ニ照シ重キニ從テ所斷ス

度量衡ハ人ノ信ヲ措ク所ノモノナリ之ヲ偽造變造スルハ即チ天下
ノ信ヲ害スルモノナリ然レ偽造變造シタルノミニテハ本條ノ刑
ヲ適スヘカラス之ヲ販賣シタルモノニシテ本條ヲ適用スヘシ

第二百二十八條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販賣シタル者ハ
前條ノ刑ニ一等ヲ減ス

本條ハ自カラ偽造變造シタルニ非スシテ自己ノ所有セシモノヲ販
賣シタル場合ナリ

第二百二十九條 商賈農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル
者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰
金ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
第一項ハ所有シタルノミニテ適用ス可キ本條ナリ増減シタル度量
衡ハ之ヲ發見セシヤ直チニ官ニ訴フヘキモノナルニ依然之ヲ所有
セシキハ甚タ危キコアリ且其人ニ何時カ之ヲ使用セントスルノ意
思アルモノナリトノ推測ヲ確認セシムルカ故ニ所有シタルノミニテ
以テ犯罪トハナセリ

第二項ハ之ヲ所有セシノミナラス既ニ之ヲ使用シテ利ヲ得タル場

合ナリ

第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ其託囑シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

現ニ偽造變造シタル者ハ正犯タルハキモノナリ然ルニ一等ヲ減ストアレハ本條ハ第四百四條ノ例外ト爲ス可シ

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分氏名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勳章ヲ僭用シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

右二條ノ所犯ハ將來不良ヲ謀ルモノトノ推測ヲ確認セシム

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ國會ヨリ村會ニ至ルマテ公選ノ投票ヲ偽造又ハ増減シテ其數ヲ變スル者ハ國政村政ヲ妄リニ變革セントスルノ所爲ナルヲ以テ國事犯トス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓

以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條及ヒ前條ハ各受任者ノ所犯ニシテ其犯ス可容○易○ニシテ其情重シ○

第五章 健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ニ關スル罪

第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ反ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第二百三十九條 税關官吏情ヲ知テ阿片烟及ヒ其器具ヲ輸入セシ

メタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

本條第一項ハ第二百四十一條ノ從犯ニ似タリ然レモ其利ニ圖ルノ所爲アルヲ以テ阿片烟ヲ吸食シタル者ヨリ其情重シトス

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニス

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

所有シタル者ハ吸食セントスルノ意ニシテ受寄シタル者ハ亦所有

者ノ所犯ヲ幫助スルモノナリ

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フル
ヲ能ハサルニ至ラシメタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ
處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ泥土汚水等ヲ以テ淨水ヲ汚穢シタル場合ナリ

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又
ハ腐敗セシメタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以
上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ本條ノ所犯ヲナスモノハ故意
ルモノヨシテ其情重ク刑亦タ重カラサルヲ得ス

第二百四十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル

者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

第二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港
ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一
年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
傳染病ノ流行セントスルハ行政上ノ處分ニ因リ之ヲ豫防センカ
爲メ船舶ヨリ上陸スルヲ禁シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬スルヲ制ス
ルノ規則ヲ定ムルコトアリ之ニ違背シタル片ハ輕禁錮ニ處セラレカ
又ハ罰金ニ處セラレ、カ之ヲ處斷スルハ裁判官ニ在リトス

第二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スヲ知テ
制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

船長ハ船舶中ニ在テハ殆ント行政官吏タルノ權限ヲ有スルモノナ

レハ船長自カテ本條ノ所犯ヲナシタルキハ其職務ヲ盡クサ、ルノ過失アリ故ニ通常人ニ一等ヲ加重スル所以ナリ

第二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

獸類ノ傳染病ハ人類ノ傳染病ヨリ其害較々少シ然レモ社會ノ生類ヲ非常ニ減少シ國益ヲ殺クモノナリ且ツ或ハ蔓延シテ其害人類ニモ波及セントスルノ恐れアリ

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關ス

ル罪

第二百五十條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一項ハ硝子製造マツチ製造等ノ如キ財産ニ關シテ危害アル製造所ヲ創設シタルモノヲ云フ而シテ本項官許ヲ得スシテ云々トアリ故ニ之ヲ一見スレハ若シ官許ヲ得シナレハ幾ク危害ヲ生スヘキ物品ノ製造所ヲ創設スルモ妨ケナキカ如シ然レモ是等ハ行政上ノ處分ニヨリ實ニ危害ナリト認ムル片ハ之ヲ許サ、ルノ權アルカ故ニ其愛ナキモノトス

第二項ハ「モルヒ子」等ノ如キ身体ノ健康ヲ害スル製造所ヲ設クルモ

ノニ係ル而シテ本項ハ官許ヲ得タルモノト得サルモノトヲ問ハサルカ如シ然レモ大ニ健康ヲ害スヘキ物品ノ製造所ハ多分行政上ニ於テ之ヲ許可セサルナルヘシ然ラハ之ヲ創設スル亦官許ヲ得サルモノト云フヘシ

第二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第二百五十二條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣云々故ニ只タ人ノ健康ヲ害スヘキ飲食物ヲ販賣シタル者ハ適用ス可カラズ

第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

第二百五十六條 官許ヲ得スシテ醫業ヲ爲シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

醫師ノ業タル精眞熟達ノ者ニ非サレハ得ヘカラス官ノ之ヲ許スハ其人ニ在リ若シ劣拙不實ノ者ハ容易ニ人ヲ誤マル

第二百五十七條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致

シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六章 風俗ヲ害スル罪

第二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條公然ノ字ニ注意ス可シ

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖畫其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賭博ハ自カラ勞ヒスシテ財產ヲ僥倖セントスルノ所爲ナルヲ以テ社會人類ヲシテ怠惰ニ陥ラシムルノ恐レアリ即チ本條ノ設ケアル

所以ナリ

第二百六十一條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ但飲食物ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス

賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ沒收ス

第一項財產物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者云々故ニ博奕ヲ爲シタルヨリ時間ヲ經タル時ハ本條ヲ適用スヘカラス

第二項骨子及ヒ其場ニ現存シタル金錢ニ至ルマテ總テ賭博所犯ノ用ニ供シタルモノハ之ヲ沒收ス是等ノ物ハ元來ノ應禁物ニハ非カレト犯罪ノ所爲ノ此物ニ併發スルキハ沒收物トナルナリ故ニ骨子ヲ所持スト雖モ博賭ノ所爲ヲ犯サ、レトハ決シテ之ヲ沒收スル

ナシ

第二百六十二條 財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

亦賭博ニ類シテカヲ勞セスシテ金錢ヲ僥倖セントスルノ所爲ナリ

第二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所爲アル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ社會ノ害ヨリハ重キニ道義上ノ所犯ヲ法律ニ掲記シタルモノト云フ可シ

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

第二百六十四條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年

以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條埋葬ス可キ死屍トハ自カラ埋葬ス可キ責任アル死屍ナシ平將タ人ノ死屍ハ皆埋葬スヘキモノナルニヨリ凡テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ其責任ノ有無ヲ問サル平蓋シ人ノ死屍ハ之ヲ埋葬スルニ責任ノ人アリト雖モ其責任ノ人之ヲ毀棄シタルハ論ヲ待タズ荷クモ人ノ死屍トナレハ之ヲ埋葬ス可キハ通理ナレハ若シ之ヲ毀棄スルニ於テハ責任アルト否トヲ問ハス本條ヲ適用ス可キナリ

第二百六十五條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五

圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス。

今醫師アリテ自カラ智識ヲ研究セントシテ墓墳ヲ發掘シテ死屍ヲ解剖シタルニ固ヨリ官許ハ得サリシ此場合ニ於テハ本條第二項ヲ適用スヘキナリ

第二百六十六條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

第二百六十七條 偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス

偽計ハ人ノ智識ニ關スル者ナレハ其爲ス事密ニシテ其害繼續スルヲアリ威力ハ人ノ体力ニ關スルモノナレハ之ヲ爲ス顯ニシテ其害モ偽計ニ比レスハ較少ナル場合アリ

第二百六十八條 偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十九條 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者ハ亦前條ニ同シ

第二百七十條 農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

鏡業ニ依リテ他ノ雇人ニ威力偽計ヲ以テ妨害ヲ爲ス者悉ク本條中ニ包含ス可シ

第二百七十一條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ亦前條ニ同シ

第二百七十二條 虛偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
本條價直ヲ昂低セシメタル者ハトアリ故ニ虛偽ノ風説ヲ流布スルモ未ダ穀類其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメサル者ハ本條ヲ適スヘカラス

第九章 官吏瀆職ノ罪

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第二百七十三條 官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セス又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ニ掲クル所ノモノハ法律規則ヲシテ人民ニ知ラシメス國政ヲ遵奉セシメサルヲ希望スルモノナルニヨリ國事犯ナリ

第二百七十四條 兵隊ヲ要求及ヒ之ヲ使用スル權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ其處分ヲ爲サシムル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ所犯ハ騷擾ヲシテ益々騷擾ナラシメ國內ヲ動搖セシメントスルノ意思アルヲ以テ亦國事犯ナリ兵隊ヲ要求スルノ權アル者ハ府知事縣令豫審判事等ニシテ之ヲ使用スルノ權アル者ハ陸海軍

ノ將校ナリ

第二百七十五條 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

官吏ハ一國ノ公益ヲ謀ルモノニシテ商業ノ私益ニ關スヘカラサルカ爲メ其規則ヲ設定セリ

第二節 官吏人民ニ對スル罪

第二百七十六條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其爲ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一月以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十七條 人ノ身体財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫審判事檢察官吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ爲サ、ル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

是等ノ官吏ハ人民ノ身体財産ヲ保護スル爲メ司法權ヲ有スルモノナレハ之カ處分ヲ怠ルハ其官務ニ反戾スルモノナリ而シテ人民ヨリ是等ノ官吏ニ告訴スルコトヲ得ルハ治罪法第九十三條ニ明カナリ

第二百七十八條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セスシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ

人生天賦ノ自由權ハ至重ナリ至貴ナリ濫リニ妨害ス可カラズ
第二百七十九條 司獄官吏程式規則ヲ遵守セスシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百八十條 前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 因テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

第二百八十一條 水火震災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解クコトヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ
 本條水火震災ノ際云々水災火災ハ一時ニ官吏ノ所在ト囚人ノ所在トニ及フハ甚タ稀ニシテ其災アルニ逢ヘハ囚人ノ監禁ヲ解クノ猶豫ハアルヘケレモ地震ニ至リテハ官吏ノ所在ト囚人ノ所在トヲ問ハス一時ニ震動スルモノナレハ其監禁ヲ解クニ違マナカルヘシ而シテ地震ノ際モ自己ノ性命ヲ顧ミス必ス囚人ノ監禁ヲ解クヘシト命

スルハ官吏其職掌タルモ甚タ酷ニ失スルニ似タリ蓋シ危急ニシテ已レ性命ヲ保護スルニ難キ場合ニ至テハ敢テ他ヲ顧ミルノ違ナシ故ニ本條ヲ以テ論スヘカラサルコトアラン然レモ此場合ニ於テハ裁判官タル者之ヲ實際ニ臨ンテ注意セサルヘカラス何トナレハ已テ願ミルニ違ナキ場合ニ於テハ第七十五條ニ據ルヘケレハナリ
 第二百八十二條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ陵虐ノ所爲アル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 因テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

古ハ拷問ナルモノアリテ被告人ニ苦痛ヲ與ヘテ罪証ヲ得ルコトナセシカ當時開明ノ世ニ在テハ勉メテ殘忍ノ風習ヲ棄廢シ簡大ノ政

策ヲ施コサ、ルヘカラス

第二百八十三條 裁判官檢察官故ナクシテ刑事ノ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其民事ノ訴ニ係ル者亦同シ

故ナク云々故ニ事故アリテ遷延ニ及ヒタル場合ニ於テハ本條ヲ適スヘカラス

第二百八十四條 官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ處分ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

第二百八十五條 裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ裁判ヲ爲シタル時ハ一等加フ

裁判官民事ノ裁判ニ關シテ云々故ニ民事ノ裁判ニ關セスシテ賄賂ヲ收受シタル時ハ本條ヲ適用スヘカラスシテ正ニ前條ニ適ス可シ

第二百八十六條 裁判官檢察官官吏刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑

ヨリ重キ時ハ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シ反坐ス
第二百八十七條 裁判官檢察官官吏賄賂ヲ收受聽許セスト雖モ
情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ挾シミ被告人ヲ曲庇陷害シタル者ハ亦前條
ノ例ニ同シ

以上ノ數條ハ官吏其職務ヲ盡クサ、ルノミナラス其職務ノ要路ニ
在テ之レカ所爲ヲ犯スハ其事容易ニシテ道義ト社會ノ害併ナカラ
重大ナルヲ以テ其刑ヲ重クセリ

第二百八十八條 前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之
ヲ沒收シ費用シタル者ハ其價ヲ追徵ス
官吏其職務タルノ故ヲ以テ沒收ノ法甚ク嚴ナリ

第三節 官吏財産ニ對スル罪
第二百八十九條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタル者

ハ輕懲役ニ處ス

因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第二百五條
ノ例ニ照シテ處斷ス

綱領律例ニ所謂ル監守盜ナル者第二項ノ所犯ニ至テハ官署ノ計算
ヲ廢却誤認シテ經濟上ニ信ヲ措ク能ハサルニ及ラシ恐レアリ

第二百九十條 租稅其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏正數外ノ金穀
ヲ徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百九十一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者
ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三編 身体財産ニ對スル重罪輕重

第一章 身体ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

謀殺ハ必ス犯罪以前ニ於テ豫謀ノ所爲アリ故殺ハ臨時殺意ヲ發シテ人ヲ殺ス者ナリ假令ハ米商アリテ競業ノ念ヨリ其隣地ノ米商已レカ商業ノ妨害ナルヲ思意シ之ヲ殺シテ其業ヲ止メシメ己レ利ヲ占メシヲ謀レリ是レ發意ノ場合ニシテ其所犯ヲ遂クルニ至ルマテハ必ス多少ノ時間ヲ要シ且ツ思念決意豫備ノ所爲ヲ經テ遂ニ其人ヲ殺シタリ之レ謀殺ナリ故殺ハ必ス挑發ナルモノアリ假令ハ甲乙ト議論ヲナシ其口端乙ヲ罵詈タシルニ依リ乙憤然忽チ甲ヲ殺サントスルノ意ヲ生シ其傍ニ有合セタル庖刀ヲ以テ甲ヲ殺シタリトセンニ甲カ先キニ乙ヲ罵詈セシハ乙ヲ殺シテ犯罪ヲ結成セシムルノ挑發ナリ何トナレハ若シ甲カ乙ヲ罵詈セサリシナラハ乙ハ甲ヲ殺ノ念ヲ發セサレハナリ故ニ思念ニ違アラス豫備ヲナスノ時間ナ

ク發意ヨリ直チニ犯罪ニ至レルモノト云フ可シ
 謀殺ハ社會ノ害道義ノ罪最大無極ニシテ實ニ畏ルヘキノ所爲ナリ故殺モ固ヨリ大害畏ルニ足ズト云フニハ非サレヒ之ヲ謀殺ニ比スレハ挑發アルニヨリ臨時血氣ノ勇ヨリ殺意ヲ生シタルニ至レルモノナルヲ以テ較々怨スヘキ所アリ

第二百九十二條 豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト爲シ死刑ニ處ス

豫メ謀ルノ所爲復讐等ニ最モ多シトス

第二百九十三條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

毒物ハ必ス人ヲ殺スニ堪ユヘキ性質ヲ具有セルモノヲ云フ夫レ人ヲ殺スニ堪ユヘキ性質ヲ具有セル物品ヲ以テ人ニ施用スルハ之ヲ

豫謀ノ意思ナシト云フモ豈ニ得ヘクヤ
第二百九十四條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト爲シ無期徒刑ニ處ス

故意ノ義タル豫謀ノ義ト相反ス何トナレバ時ニ臨シテ意思ヲ發スルノ義ナレバナリ

第二百九十五條 支解折割其他慘刻ノ所爲ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

故殺ハ臨時ノ憤怒ニ乘シテ殺意ヲ發シタルモノナレハ若干ノ時間ヲ經レハ良心悔悟スルコトアルヘキハ當然ナリ然レニ慘刻ノ所行即チ支解折割其他ノ所爲ヲナスハ其際若干ノ時間ヲ要スルヲ以テ良心發覺シテ爲スニ忍ビサルコトナリ忍ビサルノ事ニシテ而テ之ヲ長キ時間ニ爲スハ只ニ故殺ト云フノミナラス更ニ殘忍ヲ加フヘキ

ノ意思ヲ存スルニ似タリ是レ故殺ニシテ死刑ニ處スル所以ナリ

第二百九十六條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又己ニ犯シテ

其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

強盜ヲナサントシテ看守人アルヲ妨害トナシ之ヲ殺シ又ハ強盜ヲナシタル以後人ノ發露セシコトヲ防シ爲メ其人ヲ殺マタルヲ類ス

第二百九十七條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ死

ニ致シタル者ハ故殺ヲ以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

亦ヲ渉ルニ數丈ノ深キ所ヲ詐稱シテ淺水ナリト呼ヒ之ニ誘導シテ

人ヲ死ニ陷ル類

第二百九十八條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ仍ホ謀

故殺ヲ以テ論ス

誤ツテ他人ヲ殺スト雖モ謀故殺ヲ行フニ付テ人ヲ誤ルモノナレハ

其謀殺故殺ノ意思ハ猶ホ繼續シテ絶ヘサルモノナレハ則チ謀殺タルヲ免カニス

第二節 毆打創傷ノ罪

第二百九十九條 人ヲ毆打創傷シ因テ死ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス

刑法ニ所謂ル毆打創傷ノ罪トハ只ニ手足ヲ以テ人ヲ毆打シ創傷シタルノミヲ云フニ非ラズ健康ニ害アルモノヲ以テ人ニ服藥セシメ而シテ創傷シタルモノモ此中ニ包有ス然レモ此等ハ實際ニ臨ンテ注意セサルヘカラス若シ殺意アリテ毒藥ヲ施用シタル如キハ謀殺ノ部類ニ入ルヘク毆打ハ則チ創傷シテ人ヲ殺スモ當テ意思アルセノニ非ス唯人ノ挑發ニヨリ憤怒ヲ發シテ毆打スルモノナレハ謀殺又ハ故殺トハ大ニ結果ヲ異ニスル所以ナリ

第三百條

人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ斷チ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ殘廢シ癱疾ニ致シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス
第一項ニ所謂ル篤疾トハ性命ニ危篤ヲ生スルモノニシテ第二項ニ所謂ル廢疾トハ終身不具ノ身トナルヘキモ敢テ性命如何ニ及ハサルモノヲ云フ

第三百一條

人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムル能ハサルニ至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年以下ノ重

禁錮ニ處ス

疾病休業ニ至ラスト雖モ身体ニ創傷ヲ成シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百二條

豫メ謀テ人ヲ毆打創傷シ休業癱篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前條ニ記載シタル刑ニ照シ右一等ヲ加フ

本條豫メ謀テ云々人ヲ毆打スルコトハ豫メ謀リタルナレモ死ニ致スコトハ豫シメ謀リタルニ非サルモノヲ云フナリ若シ人ヲ死ニ致サンコトヲ豫メ謀テ癱篤疾ニ致シタルモノトセハ其刑ハ謀殺ノ未遂犯罪ナルヘシ

第三百三條

重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ毆打創傷シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

竊盜罪ヲ犯スニ人アルヲ妨害トシ之ヲ逐去セントシテ毆打シタル

場合ノ如キ是ナリ

第三百四條

毆打ニ因リ誤テ人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

甲人ヲ毆打セントシテ誤テ其傍ナル乙人ヲ毆打シタル場合ノ如キ是ナリ

第三百五條

二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ其刑ヲ科ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ルコト能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス

第三百六條

二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス

本條ハ殴打創傷ノ從犯ト稱スヘシ

第三百七條 健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ殴打創傷スルノ例ニ照シテ處斷ス

凡ソ健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用スルハ只ニ時ニ臨ンテ殴打スルニ比スレハ多少思慮ノ時間アリ即チ豫メ謀テ殴打創傷スルニ例照スル所以ナリ

第三百八條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷ヲ以テ論ス

本條人ヲ殺スノ意ニ非サルヲ要ス若シ殺意ニ出ルモノトセハ謀殺例ニ照ス可キナリ

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

第三百九條 自己ノ身体ニ暴行ヲ受クルニ因リ直チニ怒ヲ發シ暴

行人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不正ノ所爲ニ因リ自カラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

本條注意ヲ要スヘキハ直チニノ文字ナリ若シ猶豫ノ時間アルハ本條ヲ適用スルヲ得ス

第三百十條 殴打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下スノ先後ヲ知ルヲ能ハサル者ハ各其罪ヲ宥恕スルヲ得

手ヲ下スノ先後ヲ知ルヲ能ハサレハ亦不法ノ輕重ヲ知ルヲ能ハサルナリ故ニ其罪ヲ宥恕スルヲ得ト而シテ得ノ字ハ宥恕スルヲ以テ本例トナスニ非ラス即チ宥恕スルト否ラサルトハ之ヲ裁判官實地ノ模様ニ依リ其權カヲ附シタルモノナリ

第三百十一條 本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シ

殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

タル者ハ此限ニ在ラス

本條ハ人情已ムヲ得サル場合ヲ掲ク而シテ其注意ヲ要スルハ姦所ニ於テノ文字ナリ若シ姦所ニ在ラサルハ本條ヲ適用スルヲ得ス

第三百十二條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル爲メ之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス

住居ハ人ノ城郭ナレハ十分ニ之ヲ保衛セサルヘカラス然ルニ故ナク邸宅ヲ侵スモノアレハ或ハ我カ城郭ヲ窺フノ推測ヲナスハ理當ニ然ルヘキコニシテ不得已モノナレハ其罪ヲ宥恕セリ而シテ本條晝間云々トアリ若シ夜間云々シタルモノハ如何ト云フニ若シ夜間ナレハ其住居ヲ侵シタル人ハ斷然不正ノ推測ヲ固フスルカ故ニ即チ第三百十五條第三項ニ掲ケタリ

第三百十三條 前數條ニ記載シタル宥恕ス可キ罪ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

第三百十四條 身体性命ヲ正當ニ防衛シ已ムヲ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス其罪ヲ論セス但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

或曰ク本條自己ノ身体生命ヲ正當ニ防衛スル爲メ暴行人ヲ殺傷シタルモノハ所謂ル正當防禦ノ權ヲ適用シタルモノナルヨリ不諭罪タルハ當然ナレヒ他人ニ至テハ他人ヲ防禦スルノ權ヲ有スルコト非ラス之ヲ自己ヲ防禦スルト同一ニ措クハ如何ン然リ然レヒ他人ノ危急存亡ヲ見テ直チニ之ヲ救フノ術ヲ尽クスハ人情ニシテ且尤モ道義ニ適合セル善所爲ト云ハサルヘカラス人ニ

ヨリテハ他人ノ危急ヲ見ルコト自己ノ危急ヨリモ深ク憂フルモノアリ之ヲ善人ト云フ善人トナレハ法ハ其所爲ヲ刑スルヲ得ス

第三百十五條 左ノ諸件ニ於テ己ムヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論セス

一 財産ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止スルニ出タル時

二 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時

三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戶牆壁ヲ踰越

損壞スル者ヲ防止スルニ出タル時

本條各項已ムヲ得サルニ出テタルヲ緊要トス若シ猶豫ハ時間アリ又ハ故意ニ出テタル時ハ本條ヲ適用スヘカラス

第三百十六條 身体財産ヲ防衛スルニ出ルト雖モ己ムヲ得サルニ非シテ害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害己ニ去リタル後ニ於テ勢

ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪ノ限ニ在ラス但情

狀ニ因リ第三百十三條ノ例ニ照シ其罪ヲ宥恕スルヲ得

正當防禦ノ權ヲ濫用シタル場合ニ於テハ決シテ不論罪ニ措クヲ得ス且之ヲ宥恕スルモ其情狀ヲ實際ニ察セサルヘカラス

第四節 過失殺傷ノ罪

第三百十七條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セス過失ニ因テ人ヲ

死ニ致シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

疎虞トハ爲ス可ラサル事ヲナシテ過失ヲ致シタルモノニテ假令ハ人衆稠密ノ場所ヘ車馬ヲ乘リ込ミ過テ人ヲ死ニ致シタル如キヲ云ヒ懈怠トハ爲ス可キヲ爲サ、ルヨリ過失ヲ生スル場合假令ハ客船ノ楫子カ眠テ楫ノ方向ヲ定メス過テ衝突シテ乗客ヲ死ニ致シタル如キヲ云フ此等ハ惡意ナキニヨリ施休ノ刑ヲ科セス

殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癱篤疾ニ致シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百十九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラシメタル者ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條疾病休業ニ至ラシメタル者其疾病休業ノ時間ノ長短ヲ問ハサルモノナリ然レモ裁判官ハ實地ニ臨ンテ罰金ヲ伸縮ス可シ

第五節 自殺ニ關スル罪

第三百二十條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ爲メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ補助ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

本條ハ強ヒテ情死ヲ德憑シタル者等ニ多ク適用ス其囑託ヲ受ケテ

云々囑託ハ自殺人ヨリ受ケタルモノナルコトヲ必要トス若シ他人ヨリ囑託ヲ受ケテ云々スル時ハ眞ノ殺人ナリ

第三百二十一條 自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス

自己ノ利ヲ圖リタルノ所爲只ニ情死ヲ德憑シタル等ニ比スレハ其罪狀更ニ重シ

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

第三百二十二條 擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ

人ノ自由ヲ束縛スルノ所犯ハ束縛日數ノ長キニ從テ其刑科ヲ重クス

第三百二十三條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重

禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十四條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル者

ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三百二十五條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クヲ

怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第三百二十三條ニハ擅ニ人ヲ監禁制縛シテ云々監禁ト制縛トヲ區

別シ本條ハ只ニ擅ニ人ヲ監禁シ云々然ラハ人ヲ制縛シタルニ水火

震災ノ際之ヲ解クヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル場合ハ如何

蓋監禁ノ字ハ制縛ノ字義ヲモ包含スヘシ何トナレハ本節ノ題目ニ

擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪ト記シ而シテ第三百二十三條ニ監禁制縛

ノ字ヲ連用セリ若シ監禁ハ制縛ト必ス區分セサルヘカラサルモノ

トセハ本節ノ題目ニ此字ヲ用ヒスニ第三百二十三條ニ頓ニ制縛

ノ字ヲ用ユヘキノ理ヲケレハナリ

第七節 脅迫ノ罪

第三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタル家屋ニ

放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二

圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財産ニ放火シ及ヒ毀壞

劫掠セント脅迫シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ

二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

只ニ人ヲ殺サント云ヒ又ハ毆打創傷暴行ヲ爲サント云ヒタルノミ

ニテハ未ダ以テ脅迫ト稱スヘカラズ脅迫ナル者ハ必ズ人ヲシテ神

心ヲ喪懼シ自由ヲ制禁セシムルノ所爲ナカラサルヘカラズ故ニ脅

迫ハ多少ノ度ニ依リテ實際ニ注意セサルヘカラズ

第三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

脅迫ノ所爲ニ加フルルニ兇器ヲ以テセハ人ヲシテ益々恐慄セシム

第三百二十八條 親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫シタル者ハ亦前二條ノ例ニ同シ

第三百二十九條 此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケタル者又ハ其

親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

脅迫ハ其所爲ノ形跡ヲ後ニ存セサルカ故ニ他人ノ之ヲ探求シテ証ヲ得ルニ難シ故ニ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ受理スルモノトハナセリ

第八節 墮胎ノ罪

第三百三十條 懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ

一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

其他ノ方法トハ實際ニ臨檢シテ其証ヲ得ルモノトス

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十二條 醫師穩婆又ハ藥商前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ハ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

第三百三十六條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

自ラ生活スルヲ能ハサル老疾者ヲ遺棄シタル者亦同シ

遺棄シタルノミニ限ラズ未ダ癡篤疾又ハ死ニ致サズモノヲ單ニ遺棄トハ云フナリ

第三百三十七條 八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ寥闕無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

寥闕無人ノ地ニ遺棄スルハ幼者又ハ老疾者ノ生死ヲ慮カサルノ所爲ナルニヨリ前條人ヲ救助ヲ得ヘキ地ニ遺棄シタルノ所爲ニ比ス

レハ殘忍ナリトス

第三百三十八條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

自カラ保養ス可キノ義務ヲ負フテ而シテ遺棄スルハ其義務ニ背キタル狀更ニ重シ

第三百三十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シ因テ癡疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

抑々刑ハ所爲ノ結果ヲ罰スルモノナリ癡疾篤疾又ハ死ニ致スハ遺棄ノ結果ナリ

第三百四十條 自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヲ知テ之ヲ扶助セス又ハ官署ニ申告セサル

幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス
若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルヲ知テ扶助セス又ハ申告セサル者亦同シ

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百四十一條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條及ヒ前條ハ多ク他人ノ婦女ヲ畧取シテ之ヲ娼妓トナシ利ヲ圖ル者ニ係ル其交付トシテ財ヲ得タルト否トヲ問ハサルモノナリ

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナルヲ知テ自己ノ家屬僕婢ト爲シ又ハ其他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

第三百四十四條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ爲シタル時ハ告訴ノ效ナシ

告訴ヲ待テ其罪ヲ論スル者ハ此等ノ所犯ハ或ハ事ノ褻猥ニ涉リ其証ヲ探偵スル實ニ忍ヒサル所ノモノアルニ依ルナリ而シテ式ニ從テ婚姻ヲ爲シタル時ハ其人ニ交付スルヲ暗ニ承諾シタルモノト云ハサルヘカラス承諾ヲ以テ交付シタレハ則チ略取又ハ誘拐ト稱

スルヲ得ス且此事ヤ畧取誘拐往々似テ非ナルモノアリ實際ニ注意セサルヘカフス其二十歳未満云々ト定メタルハ既ニ二十歳ヲ過クレハ智慮ヲ具備セルニ餘リアレハ濫リニ人ノ爲メニ略取誘拐セラ
ル、ノ理ナケハナリ

第三百四十五條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取誘拐シテ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲役ニ處ス

外國人ニ交付スルハ殆ント之ヲ賣買シテ人奴又ハ妾トナスノ所爲ナルニヨリ其情重シ

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

十二歳以下ハ經驗ニ乏キヲ以テ決シテ猥褻ノ所行ヲナスヘカラス暴行脅迫ヲ以テセハ幾十歳ト雖モ免カル、コ能ハス

第三百四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス

藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

第三百四十九條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三百五十條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

所犯已ニ猥褻ナリ口供陳述ノ猥褻ニ涉リ見聞ニ忍ヒサルモノアルヲ強メテ其事行ヲ探索シテ刑ニ擬セントスルハ大ニ道義ニ反スルモノナレハ法律ハ是等ノ所行ハ可成的内密ニシテ他ニ漏サ、ルヲ欲セリ故ニ告訴アリタル以上ニシテ初メテ罪ヲ論ス

第三百五十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス但強姦ニ因テ篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

第三百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ

此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ告訴ノ效ナシ

有夫ノ婦姦通シタルニ因リテ害ヲ被ムル者ハ只本夫ノ故ニ本夫ノ告訴ヲ待テ罪ヲ論ス然ルニ若シ本夫カ先キニ縱容シタルハ本夫自カラ害ナキヲ明言シタルニ等シ是レ告訴ノ効ナキ所以ナリ

第三百五十四條 配偶者アル者重子テ婚姻ヲ爲シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

第三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百二十

條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百五十六條 誣告ヲ爲スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

誣告ノ害ハ無辜ヲ陷害スルニ在リ若シ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ未ダ被告人ヲ害スルコトナシ本刑ヲ免スル所以ナリ

第三百五十七條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第二百

二十一條第二百二十二條ニ記載シタル例ニ照シテ處斷ス

第三百五十八條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹謗シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

一公然ノ演說ヲ以テ人ヲ誹謗シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作爲シテ人ヲ誹毀シタル者

ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百五十九條 死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔ニ出テタルニ非サレ

ハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルヲ得ス

誣罔タルヲ證スルハ死者ノ親屬ナリ然レモ所謂無的ヲ證スルモノナルヲ以テ証ヲ得ルコト甚タ難シ死者ノ履歷又ハ証人等ヲ以テセサルヘカラス

第三百六十條 醫師藥商穩婆又ハ代言人辯護人代書人若クハ神官

僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受ケ

テ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス

裁判所ノ呼出ヲ受ケテ事實ヲ陳述スルハ其人一己ノ利害ニ關スルニ非スシテ社會ノ公益ニ關スルモノナレハ則チ正實ニ陳述セサルヘカラス然レ此等ハ管テ委託ヲ受ケタモノナルコトヲ申立其陳述ヲ謝絶スコト得ヘシ

第二百六十一條 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

裁判所モ亦人ノ惡事醜行ヲ陳述スルヲ聽クコトヲ好マス。是レ告訴ヲ待テ罪ヲ論スル所以ナリ

第十節 祖父母父母ニ對スル罪

第二百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ

恩義ニ報フルニ孝ヲ以テスルノ性分ヲ尽サヌシテ却テ其身體ニ害ヲ與フ其罪凡人ノ刑ヨリ重カラサルヲ得ス

第二百六十三條 子孫其祖父母父母ニ對シ毆打創傷ノ罪其他監禁脅迫遺棄誣告誹毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ但癱疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セス其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ宥恕及ヒ不論罪ノ例ヲ用フルヲ得ス但其犯ス時知ラサル者ハ此限ニ

在ラス

挑發者ハ他人ナリト思意シテ之ヲ毆打セシニ圖ラカリキ。祖父母又ハ父母ナリシ此場合ニ於テハ祖父母父母ニ對スル刑ヲ適セスシテ凡人ヲ毆打スルノ刑ニ準スルモノリス

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

人ノ所有物トハ所有權ノ他人ニ屬スル物品ヲ云フ竊盜トハ看守人ノ知ラサルヲ窺ヒ人ノ所有物ヲ盜取スルノ云ヒナリ看守人ノ知レルヲ強ヒテ掠取スルノ云ヒニ非ラス

第三百六十七條 水火震災其他ノ變ニ乘リ竊盜ヲ犯シタル者ハ六

月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

水火震災ノ際ハ人ノ恐怖雜劇ニシテ看守ヲ附スルニ違アラサル時ナリ此時ヲ奇貨トスルハ情平時ヨリ重シ

第三百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉

庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百六十九條 二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等

ヲ加フ

第三百七十條 兇器ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸宅ニ入り竊盜ヲ

犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス

兇器ヲ携帯スルハ斬ヤシ強盜ノ狀アリ何トナレハ其所爲ハ竊盜ナルモ若シ人ノ發覺スルアレハ兇器ヲ以テ畏サントスルノ意思ヲ有スレハナリ

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

本條ハ第三百六十六條ノ例外ナリ何トナレハ典物トナスモ官署ノ看守ヲ命令シタルモ其所有權ハ未タ失ハサルモノナレハ自己ノ所有物ナリ然レモ典物ニ於テハ己ニ債主ニ特權ヲ附シ官署ノ看守物ニ於テハ己ニ官署ニ特權ヲ附セシヲ以テナリ

第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ產物ヲ竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十三條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ關スル產物ヲ竊取シタル者ハ亦前條ニ同シ

前條及ハ本條ハ他人ノ所有物ニ屬スト雖モ看守ナキ場合ヲ云フ故ニ看守アルモノヲ忍ンテ竊取スルニ比スレハ其情較々輕シ

第三百七十四條 牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百七十五條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百七十七條 祖父母父母妻子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姉妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラズ

若シ他人共ニ犯シテ財物ヲ分チタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

第一項又ハ同居ノ兄弟姊妹云々故ニ若シ兄弟姊妹相ヒ別居スルニ
 互ニ竊取シタル時ハ本條ヲ適スヘカラス
 第二項ハ子カ父ノ財産ヲ竊取スルニ他人ト共ニ犯シタル場合ノ如
 キヲ云フ此場合ニ於テハ子ハ第一項ニ依リ竊盜ヲ以テ論セサルモ
 他人ハ竊盜ヲ以テ論スルナリ

第二節 強盜ノ罪

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強取シタル
 者ハ強盜ノ罪ト爲シ輕懲役ニ處ス
 脅迫トハ假令ハ汝余ヲシテ汝ノ財産ヲ得セシメサル時ハ汝ノ家屋
 ニ放火ス可シト畏ス如キノ類暴行ハ現ニ腕力ヲ以テ所有主ヲ殘酷
 スルヲ云フ皆強取ナリ

第三百七十九條 強盜左ニ記載シタル情狀アル者ハ一個毎ニ一等

ヲ加フ

一 二人共ニ犯シタル時

二 兇器ヲ携帯シテ犯シタル時

一個毎ニ一等ヲ加フ故ニ若シ二人共ニ兇器ヲ携帯シテ犯シタル時

ハ強盜ノ本罪輕懲役ニ二等ヲ加ヘ有期徒刑ニ處セラルヘシ

第三百八十條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタ
 ル者ハ死刑ニ處ス

強盜人ヲ傷シタル者ハ傷ヲ成スノ淺深ヲ問ハスシテ無期徒刑ニ處
 スルモノトス

第三百八十一條 強盜婦女ヲ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百八十二條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク爲メ臨時暴行脅迫ヲ
 爲シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

強盜トハ看守者ノ間隙ヲ窺テ他人ノ物品ヲ取り去ルモノナリ若シ
所有主カ之ヲ發覺シテ取還ヲ爲サントスルコト猶ホ之ヲ拒シテ暴行
脅迫ヲナスハ既ニ強盜ト名シヘカラス強盜ヲ以テ論スル所以ナリ

第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ酩酊セシメ其財物ヲ盜取シタ
ル者ハ強盜ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑
ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三節 遺失物理藏物ニ關スル罪

第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ所有主ニ還
付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮
ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

遺失物ハ概スルコト所有主ノ不注意ヨリ生シ漂流物ハ大抵難破船ア

リタルニヨリ生スルモノニシテ何レモ所有主自己ノ隨意ニヨリテ
遺失シ或ハ漂流セシニ非ス己ムヲ得サルニ出ルモノナリ故ニ其物
上ノ權利ハ猶ホ其人ニ屬スルニヨリ之ヲ藏匿スルハ他人ノ物品ヲ
己レカ不義ニ所有トナサントスルノ意思ナルヲ以テ罪科ヲ免カレ
ス然レモ若シ隨意ニ拋棄シ又ハ流失シタル物ヲ拾得シテ藏匿シタ
ルハ本條ヲ適スヘカラス多クハ貴重ノ財産ヲ隨意ニ拋棄シ又ハ流
失スル者ハ無シト斷言ス可シ

第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ掘得テ隱匿
シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百八十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十七
條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 家資分散ニ關スル罪

家資分散ニ關スル罪

第三百八十八條 家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス
情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

虚偽ノ負債トハ家資分散ノ處分ヲ受ケタル時虚偽ヲ以テ俄カニ自己ノ財産ヲ書入トナシタル如キヲ云フ

第三百八十九條 家資分散ノ際牒簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪

第三百九十條 人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物若クハ証書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處

シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ官私ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

欺罔トハ欺クニ其道ヲ以テスルヲ云ヒ恐喝トハ欺クニ恐ルヘキ辭ヲ以テスルヲ云フ皆人ノ眼前ニ於テナスノ所爲ナルヲ以テ窃盜ト性質ヲ異ニス

第三百九十一條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯亂シタルニ乘シテ其財物若クハ証書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

第三百九十二條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐偽取財ヲ以テ論ス
一斗ノ白米ヲ販賣スルニ其舛ヲ狹少ニシテ交付シ一斗ノ酒ヲ交換

スルニ故意ニ大量ノ水ヲ混入シテ其本味ヲ變セシムル如キヲ云フ
第三百九十三條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵
當典物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

自己ノ不動産ト雖モ己ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺隱シテ他人ニ
賣與シ又ハ重子テ抵當典物ト爲シタル者亦同シ

第一項冒認トハ他人ノ所有物ヲ認メテ自己ノ所有物ナリト偽ルヲ
云フ第二項ハ不動産ニノミ適用ス

第三百九十四條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上
二年以下ノ監視ニ付ス

第三百九十五條 受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル
金額物件ヲ費消シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若
シ騙取拐帶其他詐欺ノ所爲アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

今受寄財物カ金額ニシテ之ヲ費消シタル時ハ悉ク本條ヲ適用スヘ
キ乎如何

此問題ハ之ヲ二個ニ區別セサルヘカラス其契約上ニ於テ使用ス可
カラス又ハ封ノ儘ナルヲ明言セシテ費消シタル時ハ本條ヲ使用
スヘシト雖モ只ニ受託スルノミノ言詞ナル時ハ本來金額ハ融通不
確定ノ物ナルヲ以テ之ヲ費消スルモ本條ヲ適スヘカラス

第三百九十六條 自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押ヘタル物
件ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但家
資分散ノ際此罪ヲ犯シタル者ハ第三百八十八條ノ例ニ照シテ處
斷ス

第三百九十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサ
ル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百九十八條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第六節 贓物ニ關スル罪

第三百九十九條 強盜盜ノ贓物ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條強盜盜ノ贓物ナルヲ知テ云々故ニ知フスシテ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタルハ本條ヲ適用スヘカラサルヤ明瞭ナリ

第四百條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百一條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナルヲ知テ之

ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ十一日以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

家屋ハ人ノ生命ニ次ク至重至貴ノ財産ナリ然ルニ今人ヲ燒殺サントスルノ意ニ出テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタルニ果シテ其人ヲ燒殺シタリ此場合ニ於テハ人ヲ殺サントスルノ意思アリテ所犯ヲ遂ケタルハ謀殺トナシ家屋ヲ燒燬シタル者ハ本條ヲ適ス所謂一罪ヲ犯スニ付テ數多ノ刑名ニ觸レタル者ナルヲ以テ謀殺ノ一刑ヲ科スヘキモノトス

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他ノ建築物ヲ燒燬シ

タル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百四條 火ヲ放テ廢屋及ロ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乘載シタル船舶瀛車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

其人ヲ乘載セサル船舶瀛車ニ係ル時ハ重懲役ニ處ス

人ヲ乘載シタル船舶瀛車ナリト思意シテ之ニ放火シタルニ其船舶瀛車中ニハ人ヲ乘載セサリシ此場合ニ於テハ第七十七條第三項

照シ本條第二項ニ據ルヘキモノトス

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ二月以上二年

以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

借家人カ其家屋ニ火ヲ失シテ燒燬シタル場合モ本條ニ適用スルモノトス

第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トナ分テ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

其故意ニ出ルモノハ放火例ニ依リ過失ハ過失例ニ從フ

第八節 決水ノ罪

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人ノ住居シタル家屋ヲ漂失シタル者ハ無期徒刑ニ處ス
若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ漂失シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃礦坑牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第九節 船舶ヲ覆沒スル罪

第四百十五條 衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載シタル船舶ヲ覆沒シタル者ハ死刑ニ處ス但船中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處ス
第四百十六條 前條ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載セサル船舶ヲ覆沒シタル者ハ輕懲役ニ處ス

前條及ヒ本條ハ何レモ故意ノ所犯ノ場合ヲ掲ク故ニ過失ニ依リテ船舶ヲ衝突覆沒シタル場合ハ此刑法ノ問フ所ニ非ス然レモ衝突覆沒ニ依リテ人ヲ死傷ニ致シタルモハ則チ過失殺傷ヲ以テ論スキヘキナリ

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪

第四百十七條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從

テ處斷ス
家屋トハ人ノ住居シ得ヘキモノヲ云ヒ其他ノ建造物トハ倉庫稟藏等ヲ云フ

第四百十八條 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ園地ノ裝飾又ハ田圃ノ樊圍牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十九條 人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百二十條 土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者ハ六月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條土地ノ經界ニ目標トナシタル標木標石等ヲ云フ

第四百二十一條 人ノ器物ヲ毀棄シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百二十二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百二十三條 前條ニ記載シタル以外ノ家畜ヲ殺シタル者ハ三圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ處ス

被害者カ告訴セサレハ被害者自カラ告訴ノ權ヲ拋棄シタルモノニシテ本條ヲ適セス財産ノ些少ナルカ故ニ告訴ヲ要スルナリ

第四百二十四條 人ノ權利義務ニ關スル証書類ヲ毀棄滅尽シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス三圓以上三十圓以下ノ罰金

ヲ附加ス

第四編 違警罪

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘

留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

一規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品ヲ市街ニ運搬シ

タル者

二規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品又ハ自ラ火ヲ發

ス可キ物品ヲ貯藏シタル者

右三項ニ記スル所ノモノハ其性質危險ナルモノナルヲ以テ之ヲ

運搬シ又ハ貯藏スルニハ豫メ定メタル行政上ノ規則ヲ遵守シテ

尤モ注意ヲ尽サンコトヲ要ス

本項自ラ火ヲ發ス可キ物品トハ石炭等ヲ云フ

三官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火器ヲ玩ヒタル者

人家稠密ノ場所ナル所ハ官署ニ於テ烟火ヲ玩フコトヲ許サザルベ

シ

五蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規則ニ違背

シタル者

蒸氣器械其他烟筒火竈ノ掃除ヲ怠ル時ハ火災ノ恐アリ

六官署ノ督促ヲ受ケテ崩壞セントスル家屋牆壁ノ修理ヲ爲サ、

ル者

七官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者

本項人ノ死屍アルヲ其儘ニテ解剖シタル者ナリ若シ既ニ埋葬セ

シ墳墓ヲ發掘シテ解剖シタル時ハ第二百六十五條ノ刑ニ處セラ

違警罪

ルヘシ

八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者

九人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者

十密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合容止ヲ爲シタル者

本項ハ密ニ爲シタル所犯ニ非サレハ適セス公ケニ爲シタル者ハ所謂娼樓ナリ然レモ此等ハ亦タ別ニ遵守ス可キノ規則アリ

十一人ノ住居セサル家屋内ニ潜伏シタル者

衆人ヲシテ憂懼ヲ抱カシムルノ所爲ナルヲ以テ之ヲ犯罪トス

十二定リタル住居ナク平常營生ノ産業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者

本項ハ人ニ勤勉ヲ勸ムルモノナリ

十三官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者

十四違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者但被告人偽証ノ爲メ刑ヲ免カレタル時ハ第二百十九條ノ例ニ從フ

第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者

濫リニノ字ハ必要ノ反對ナリ

二水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦ス可キノ求メテ受ケ傍觀シテ之ヲ肯セサル者

三不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル者

四健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防規則ニ違背シタル者

第二百四十八條ニ掲載シタルモノト異ナルハ該條ハ故意ヲ以テ
 豫防規則ニ違背シタル場合ニシテ本條ハ過失ノ場合ナリ
 五人ノ通行ス可キ場所ニアル危険ノ井溝其他凹所ニ蓋又ハ防圍
 ナ爲サ、ル者

- 六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ喉シ又ハ驚逸セシメタル者
 - 七發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者
 - 八狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者
 - 九變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬シタル者
 - 十墓婢及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者
 - 十一神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者
 - 十二公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス
- 第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタ者ハ一日以上三日以下ノ拘留

- ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス
 - 一盤リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者
 - 二制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者
 - 三夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者
 - 四木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識ノ點燈ヲ怠リ
タル者
 - 五瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者
 - 六禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者
 - 七汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者
 - 八警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者
 - 九醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者
- 本項犯罪トナルヘキ主タル理由ハ事故ナクシテト云フニ在リ而

シテ若シ官署ヨリ命令ヲ受ケタルニ故ナクシテ之ヲ肯セサル者ハ第七十九條又ハ第八十一條ノ刑ニ處セラルヘシ

十死亡ノ申告ヲ爲サシテ埋葬シタル者

十一流言浮説ヲ爲シテ人ヲ誑惑シタル者

流言浮説ニ依リテ若シ毀類其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者ハ第二百七十二條ニ處セラルヘキナリ

十二妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ爲シ人ヲ惑ハシテ利

ヲ圖ル者

十三私有地外ヘ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シタル者

十四官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル者

十五路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ厠場等ヲ毀損シタル者

十六道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行禁止及ヒ指道標ノ類

ヲ毀棄汚損シタル者

第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ

十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス

一官署ヨリ價格ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者

二渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取り又ハ故ナ

リ通行ヲ妨ケタル者

三渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシ

テ通行シタル者

四路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シタル者

五官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ違背シタ

ル者

六溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下水ヲ浚ハサ

ル者

- 七制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者
 - 八官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧畜シタル者
 - 九身体ニ刺文ヲ爲シ及ヒ之ヲ業トスル者
 - 十他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者
 - 十一他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者
- 第四百二十九條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス
- 一橋梁又ハ堤防ノ害ト爲ル可キ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者
 - 二牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タベ又ハ木石薪炭等ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者
 - 三車馬ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ爲タル者

四水路ニ於テ舟ヲ並ヘ通路ノ妨害ヲ爲シタル者

五氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者

六官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ爲ササル者

七制止ヲ肯セスシテ路上ニ遊戯ヲ爲シ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

本項ハ二三所爲ノ合スルヲ以テ犯罪トナセリ即チ制止ヲ肯セス(第一)遊戯(第二)妨害(第三)是レナリ

八牛馬ヲ牽キ又ハ繫クコトヲ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

九出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者

十通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者

十一道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯セサル者

十二酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉臥シタル者

十三路上ノ常燈ヲ消シタル者
 十四人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者
 十五邸宅ノ番號標札招牌又ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告ノ榜標等
 ナ毀損シタル者
 十六他人ノ田野園圃ニ於テ茶菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ採折シタル
 者
 十七公園ノ規則ヲ犯シタル者
 十八通路ヲキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者
 第四百三十條 前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜ニヨリ定ムル
 所ノ違警罪ヲ犯シタル者ハ其罰則ニ從テ處斷ス
 刑法附則

第一章 主刑執行

此章ハ刑法第一編第二章第二節ノ細目ヲ掲ケタルモノナリ

第一條 死刑ハ其執行ヲ爲ス裁判所ノ檢察官書記及ヒ獄司刑場ニ
 立會獄司ヨリ囚人ニ死刑ヲ執行ス可キコトヲ告示シタル後押下テ
 シテ之ヲ執行セシム但其期限ハ午前十時前トス
 第二條 死刑ヲ行フ時ハ刑場ノ警戒ヲ嚴ニシ執行ニ關スル者ノ外
 刑場ニ入ル、コトヲ許サス但立會官吏ノ許可ヲ得タル者ハ此限ニ
 在ラス

若シ死刑ヲ行フニ衆人ヲシテ之ヲ見物セシムルモノトセハ衆人
 其見ル所ニ懼レ却テ勸懲ノ鑑戒トナラス然レモ醫師等ノ如キハ
 許可ヲ得テ刑場ニ入ルコトアルヘシ

第三條 死刑ノ執行畢リタル時ハ書記其始末書ヲ作り立會ヲ爲シ
 タル官吏ト共ニ署名捺印シ之ヲ裁判所ノ檢事ニ納ム可シ

第四條 左ニ記載シタル日ハ死刑ヲ行フヲ禁ス

元始祭

孝明天皇祭

紀元節

春季皇靈祭

仁孝天皇祭

神武天皇祭

六月大祓

秋季皇靈祭

神宮神嘗祭

天長節

後桃園天皇祭

新嘗祭

光格天皇祭

十二月大祓

第五條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懷胎ト申スル者ハ醫師及ヒ穩婆ヲシテ之ヲ検査セシメ果シテ懷胎ナル時ハ檢察官ヨリ司法卿ニ上申シテ其執行ヲ停メ産後一百日ヲ經テ更ニ司法卿ノ命令ヲ受ケ執行ス可シ

婦女カ懷胎ト申スルノミコテハ未タ以テ虚實ヲ知ルニ由ナシ故ニ醫師及ヒ穩婆ヲシテ之ヲ検査セシメ若シ其申告カ虚ナル時ハ死刑ノ執行ヲ停ムヘキ限ニアラス

第六條 死刑ノ遺骸ハ一定ノ場所ニ埋ム若シ親屬故舊請フ者アル時ハ獄司之ヲ許可シ下付スルヲ得

刑法第十六條ニハ死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレハ之ヲ下付
 ストアリ本條ニハ下付スルヲ得トアリ抑々得ノ字ハ之ヲ下付
 スルト否トノ權ヲ獄司ニ附シタルモノナレハ全ク獄司ノ隨意ニ
 在リトス然レハ刑法第十六條ニ掲クル所ト差異アルニ似タリ蓋
 シ本則ハ刑法頒布以後ニ頒布セラレタルノ故ヲ以テ之ヲ考フレ
 ハ本則ニ依ルヘキモノナリ

第七條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル者執行ニ至ルマテ何時ニテモ典獄

ノ許可ヲ得テ其親屬故舊ニ接見スルヲ得

第八條 死刑ヲ執行シタル時ハ犯人ノ屬籍氏名年齢職業住所及ヒ
 其罪狀刑名ヲ記載シテ左ノ各所ニ榜示公告ス可シ

刑ヲ宣告シタル裁判所ノ門前
 犯罪ノ地

犯人住居ノ地

第九條 徒流ノ囚ヲ發遣スルハ裁判ヲ爲シタル地ノ監獄管理長官

ヨリ内務卿ニ上申シ其命令ヲ待テ發船ノ地ニ護送ス可シ

第十條 徒刑ノ囚ハ島地ニ於テ便宜ニ從ヒ獄外ノ役ニ服セシムル
 ヲ得

第十一條 流刑ノ囚幽閉ヲ免ス可キ者アル時ハ獄司ヨリ内務司法
 兩卿ニ上申シ其許可ヲ受ク可シ

流刑ノ囚幽閉ヲ免スル場合ハ刑法第二十一條ニアリ

第十二條 徒刑ノ囚假出獄ヲ許サレタル者又ハ流刑ノ囚幽閉ヲ免
 セラレタル者家屬ヲ招キ同居スルヲ請フ時ハ之ヲ許スヲ得但
 其路費ハ自ラ之ヲ辨ス可シ
 刑法第五十三條以下假出獄

第十三條 徒刑ノ囚假出獄ヲ許サレタル者又ハ流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル者家属ヲ招キ同居スルヲ請フ時ハ之ヲ許スヲ得但其路費ハ自ラ之ヲ辨ス可シ

第十四條 流刑ノ囚幽閉ヲ免シ地ヲ限り住居セシムル者ハ監獄近傍ノ地ヲ限り獄司ノ監督ヲ受ケシム若シ已ムヲ得サル事故アル時ハ獄司ニ請フテ限外ニ出ルヲ得

第十五條 流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル者再ヒ罪ヲ犯シタル時ハ本刑期限内ト雖モ島地ニ於テ直チニ其刑ヲ執行ス可シ

真心悔悟シテ將來ニ善業ヲナサントスルノ見込ミアルニ依リ幽閉ヲ免スルモノナレハ若シ再ヒ罪ヲ犯スルハ先キノ見込ニ反ス乃チ直チニ其刑ヲ執行スル所以ナリ

第十六條 懲役重禁錮ノ囚ハ便宜ニ從ヒ獄外ノ役ニ服セシムルヲ

ヲ得

第十七條 禁獄輕禁錮ノ囚獄内ニ於テ自ラ工業ヲ爲サント請フ者ハ獄司之ヲ許ス可シ

第十八條 服役限内更ニ罪ヲ犯シ再ヒ定役ニ服スル者後犯ノ刑期百日以内ハ工錢ヲ給與セス

第十九條 囚人ニ給與スル工錢ノ額ヲ定メ之ヲ交付シ及ヒ領置スル方法ハ監獄ノ規則ニ從フ

監獄則第五十一條以下工錢

第二十條 罰金科料ノ宣告ヲ受ケ未タ納完セサル前ニ於テ犯人身死スル時ハ之ヲ懲收セス附加ノ罰金ニ於ケル亦同シ

刑ハ一人ニ止マルノ刑律大原則ヲ擴充シテ罰金科料ノ徵收モ死後ノ相續人ニ及ハサルハ萬國ニ卓絶セル寬典ト云フヘシ

第二章 監視

第二十一條 監視ハ主刑ノ終リタル後仍ホ將來ヲ檢束スル爲メ警察官吏ヲシテ犯人ノ行狀ヲ監視セシムル者トス

第二十二條 監視ニ付ス可キ者ハ豫メ其住所ヲ定メシメ主刑ノ終リタル時獄司ヨリ犯人ヲ其住居ノ地ノ警察所ニ護送シ監視ヲ執行セシム主刑ノ期滿免除ヲ得タル者又ハ主刑ヲ免シ止メ監視ニ付スル者ハ其裁判所檢察官ヨリ警察所ニ護送ス可シ

第二十三條 犯人ヲ警察所ニ護送スル時ハ其監視ノ起算滿期ヲ記載シタル文書及ヒ刑名宣告書ノ騰本ヲ附ス可シ

第二十四條 犯人ノ住居遠地ニ在テ一日程ヲ過ル者ハ獄司若クハ檢察官ヨリ先ツ最近ノ警察所ニ護送シ其警察所ヨリ住居ノ地ノ警察所ニ送致ス可シ

第二十五條 警察所ヨリ犯人ヲ住居ノ地ノ警察所ニ送致スル時ハ其里程ヲ計リ日數ヲ限定シテ旅券ヲ付與シ犯人到着ノ日直チニ之ヲ其地ノ警察所ニ差出サシム但途中事故アリテ淹滞シタル時ハ第三十一條ノ例ニ從フ可シ

犯人ヲ送致スル時ハ第二十三條ニ記載シタル書類ヲ其地ノ警察所ニ遞送ス可シ

第二十六條 犯人住居ノ地ノ警察所ニ於テハ監視ノ期限間遵守ス可キ條件ヲ讀聞カセ監視ノ票ヲ下付ス可シ

第二十七條 監視ニ付セラレタル者ハ其期限間左ノ條件ヲ遵守ス可シ

- 一 毎月二度所轄ノ警察所ニ到リ其謹慎ナルコトヲ表シ監視ノ票ヲ出シ官吏ノ認印ヲ受ク可シ但疾病又ハ已ムコトヲ得サル事

故アリテ警察所ニ到ルヲ能ハサル時ハ其事由ヲ届出ツ可シ
 二 酒宴遊興ノ席ニ會シ又ハ群集ノ場所ニ參會スルヲ許サス
 三 事故アリテ其住居ヲ轉移セントスル時ハ警察所ニ申請シ許
 可ヲ受ク可シ

四 擅ニ他ノ地方ニ旅行スルヲ許サス若シ已ムヲ得サル事
 故アル時其ノ事由ヲ警察所ニ具申シ許可ヲ受ク可シ

第二十八條 監視ノ期限間ハ警察官吏時宜ニ因リ其家宅ヲ臨檢ス
 ルヲアル可シ

第二十九條 警察所ニ於テ住居移轉スルヲ許可シタル時ハ其事
 由ヲ轉住ノ地ノ警察所ニ通知シ第二十三條ニ記載シタル書類ヲ
 遞送ス可シ

第三十條 他ノ地方ニ旅行スルヲ許可シタル時ハ其里程ヲ計リ

先方ノ地ニ滞留スル時日ヲ算シ往復日數ヲ限定シテ旅券ヲ付與
 ス可シ

犯人先方ノ地ニ到レハ其地ノ警察所ニ出テ旅券ヲ示シ官吏ノ認
 印ヲ受ケ限定ノ日數内ニ歸來リ直チニ旅券ヲ警察所ニ還納ス可
 シ

第三十一條 旅行中天災又ハ疾病等ニ因リ臨時淹滞シタル時ハ事
 由ヲ其地ノ警察所ニ具申シ官吏ノ證書ヲ受ケ歸着ノ日旅券ヲ添
 ヘ警察所ニ差出ス可シ

第三十二條 監視ニ付スル者住居ナク及ヒ引取人ナキ時ハ其期限
 間懲治場ニ留置シ工業爲サシメ又ハ使役ニ供ス住居遠地ニ在テ
 歸着スル資力ナキ者亦同シ

第三十三條 懲治場ニ留置シタル者限内引取人ヲ得又ハ住居ノ地

ニ歸着スル資力ヲ得サル時ハ其地ニ送致シテ殘期ノ監視ヲ執行セシム可シ

第三十四條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯シ初犯再犯共ニ監視ニ付ス可キ時又ハ監視ノ期限間再ヒ罪ヲ犯シ更ニ監視ニ付ス可キ時ハ並ニ主刑滿限ノ後前後ノ期限ヲ通算シテ監視ヲ執行ス

第三十五條 罰金ヲ禁錮ニ換ヘタル者監視ニ付ス可キ時ハ其禁錮ノ日數ヲ監視ノ期限ニ算入ス可シ

第三十六條 監視ニ付セラレタル者其規則ヲ謹守シ悛改ノ狀アル時ハ警察官ヨリ其實情ヲ上申シ内務司法兩卿ノ命ヲ受ケテ假監視ヲ免スルヲ得

第三十七條 假ニ監視ヲ免セラレタル者住居ヲ轉移スル時ハ第二十七條第三及ヒ第二十九條ノ例ニ從フ可シ

第三十八條 假出獄ヲ許ス可キ者アル時ハ獄司ヨリ其犯人ノ行狀及ヒ刑名入獄ノ年月ヲ記載シ假ニ出獄ヲ許サレンコトヲ内務司法兩卿ニ上申シテ許可ヲ受ク可シ

第三十九條 假出獄ヲ許シタル時ハ獄司ヨリ其證票ヲ犯人ニ下付ス可シ

第四十條 假出獄證票ニハ左ノ條件ヲ記載ス可シ

- 一 本人ノ屬籍氏名年齢住所罪名刑名及ヒ處刑ノ年月
- 二 殘期何年何月何日間假出獄ヲ許ス事
- 三 假出獄中ハ特別監視ニ付ス可キ事
- 四 假出獄中更ニ重輕罪ヲ犯シタル者ハ直チニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ヲ刑期ニ算入セサル事

第四十一條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者假出獄中自ラ財産ヲ治メ

若クハ職業ヲ營マントスル時ハ警察所ニ申請シ許可ヲ受ク可シ
第四十二條 假出獄ヲ許ス可キ者ハ豫メ其住所ヲ定メシメ出獄ノ
日獄司ヨリ其證票ノ謄本ヲ添ヘ犯人ヲ其住居ノ地ノ警察所ニ護
送シ特別監視ヲ執行セシム可シ

第四十三條 特別監視ニ付スル者ハ第二十三條第二十四條第二十
五條第二十六條第二十九條第三十一條ノ例ヲ適用ス

第四十四條 特別監視ニ付セラレタル者ハ其期限間左ノ條件ヲ遵
守ス可シ

一 毎週間一度所轄ノ警察所ニ到リ其謹慎ナルヲ表シ監視ノ
票ヲ出シ官吏ノ認印ヲ受ク可シ但疾病又ハ已ムヲ得サル
事故アリテ警察所ニ到ルヲ能ハサル時ハ其事由ヲ届出ツ可
シ

二 酒宴遊興ノ席ニ會シ又ハ群集ノ場所ニ參會スルヲ許サス
三 事故アリテ住居ヲ轉移セントスル時ハ警察所ニ申請シ許可
ヲ受ク可シ但他ノ府縣ニ轉移スルヲ許サス

四 往復一日程ヲ過クル地ニ旅行スルヲ許サス

第四十五條 特別監視ノ期限間ハ警察官吏時宜ニ因リ其家宅ニ臨
檢スルヲアル可シ

第四十六條 假出獄ヲ許サレタル者刑期滿限ノ日ニ至レハ假出獄
證票ヲ警察所ニ還納シ警察所ヨリ證票ヲ出シタル獄司ニ遞送ス
可シ

主刑滿限ノ後監視ニ付ス可キ犯人ナル時ハ警察所ニ於テ第二章ノ
例ニ從テ處分ス可シ

第四十七條 假出獄ヲ許ス可キ者住所ナク及ヒ引取人ナキ時ハ第

三十二條ノ例ニ從ヒ懲治場ニ留置ス可シ

第四章 刑事裁判費用

第四十八條 豫審公判ニ付キ呼出シタル證人醫師鑑定人通辨人翻譯人ニ給與ス可キ日當旅費止宿料及ヒ第五十一條第五十二條ニ記載シタル者ヲ以テ刑事ノ裁判費用ト爲ス

第四十九條 日當旅費及ヒ止宿料ノ金額左ノ如シ

日當五拾錢

旅費一里拾錢

止宿料一宿貳拾五錢

住居三里以外ノ地ニ在ル者ハ往復旅費ヲ給シ及ヒ呼出ノ地ニ滯在中ハ日當並ニ止宿料ヲ給ス其三里未滿ノ地ニ在ル者ハ旅費止宿料ヲ給セス

第五十條 證人ノ日當旅費及ヒ止宿料ハ本人ノ請求アルニ非サレハ之ヲ給與セス

第五十一條 證人日稼ヲ以テ生業トスル者治罪法第百九十條ニ從ヒ償金ヲ要求スル時ハ旅費日當ノ外若干ノ償金ヲ給スルコトアル可シ

第五十二條 解剖舍密等ノ費用及ヒ數多ノ時間ヲ要スル翻譯料ノ類ハ日當ノ外別ニ之ヲ給與ス可シ

第五十三條 裁判費用ノ宣告ヲ受ケ未タ之ヲ納メサル前ニ於テ犯人身死スル時ハ其相續人ヨリ之ヲ徵收ス

第五章 賠償處分

第五十四條 贓物犯人ノ手ニ在ル時ハ直チニ被害者ニ還付スト雖モ若シ輾轉シテ他人ノ手ニ在ル時ハ被害者ノ請求ニ因リ還給セ

シムル者トス

他人ノ手ニ輾轉スルト雖モ若シ其他人カ贓物タルヲ知テ受ケタル時ハ之ヲ徵收シテ被害者ニ還付ス可シ

第五十五條 贓物輾轉シテ他人ノ手ニ在ル時ハ公商ニ由リ買取シタル物品ハ其公商若クハ被害者ヨリ買取者ニ原價ヲ償ハサレバ直チニ還給セシムルヲ得ス

若シ公商ニ由ラスシテ買取シタル物品ハ其還給ヲ拒ムヲ得ス但其買取者ハ賣者ニ對シ轉償ヲ求ムルヲ得

第五十六條 贓物ヲ受ケ又ハ典物トシテ受取タル者其贓物現在スル時ハ還給ヲ拒ムヲ得ス但典物トシテ受取タル者ハ典主ニ對シ轉償ヲ求ムルヲ得

第五十七條 贓物交換シテ現在スル時ハ公商ニ由ルト否トヲ區別

シ第五十五條ノ例ニ從テ處分ス可シ

第五十八條 贓物已ニ費用シタル時又ハ識別ス可カラサル時又ハ其所在ノ知レサル時ハ損害ノ賠償ヲ請求スルヲ得

第五十九條 人ノ名譽若クハ殺傷ニ關シタル損害其他犯罪ノ爲メ現ニ生シタル損害ハ其賠償ヲ請求スルヲ得但失火ハ此限ニ在ラス

第六十條 贓物ノ還給損害ノ賠償ハ其犯罪ヲ審判スル刑事裁判所ニ請求スルヲ得若シ其審判已ニ終リタル後ハ民事裁判所ニ非サレハ之ヲ請求スルヲ得ス

第六十一條 刑事裁判所ニ於テ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ請求スル者ハ通常ノ文書又ハ言語ヲ以テ之ヲ爲スヲ得其民事裁判所ニ請求スル者ハ民事訴訟ノ程式ニ從フ可シ

第六十二條 贓物ノ還給損害ノ賠償ハ本犯死スル時ハ其相續人ニ
對シ之ヲ要求スルコトヲ得
第六十三條 贓物ノ還給損害ノ賠償ハ宣告ヲ受ケタル者還給賠償
セサル時ハ被害者ヨリ更ニ民事裁判所ニ身代限ノ處分ヲ請求ス
ルコトヲ得

刑名便覽表

第六十二條 贓物ノ還給損害ノ賠償ハ本犯死スル時ハ其相續人ニ對シ之ヲ要求スルヲ得

第六十三條 贓物ノ還給損害ノ賠償ハ宣告ヲ受ケタル者還給賠償セサル時ハ被害者ヨリ更ニ民事裁判所ニ身代限ノ處分ヲ請求スルヲ得

刑名便覽表

總則

犯罪主
別要
違輕重
警罪罪

以上區
別

管轄	未遂犯罪	共犯	數罪俱發	再犯	期滿免除
重罪ハ重罪裁判所ニ於テ輕罪ハ輕罪裁判所ニ於テ違警罪ハ違警罪裁判所ニ於テス	ハ二等ヲ減シ(國事犯ノ未遂犯ハ記載シタル場合ニ非ラザルハ罰セス違警罪ノ未遂犯ハ罰スルヲナシ)	重罪輕罪ノ從犯ハ概テ正犯ト同シク罰シ違警罪ノ從犯ハ格別ノ場合ニ非サレハ罰セス	重罪又ハ輕罪共ニ發スルキハ最重ノ一刑ヲ科シ違警罪俱發ノ場合ニ於テハ各犯ノ刑ヲ加算シ併セ科ス	重罪輕罪ノ再犯ハ即法律ニ定メタル刑ノ加等アルキハ一般ノ再犯ニシテ犯時ト犯所トニ關セズ違警罪ノ再犯ハ即格別ノ再犯ニシテ法上ノ加等アルキハ前後ノ一犯共罪ノ同等ヲ要スルノミナラス一年內ニ同管轄ノ地ナルヲ要ス	

刑名便覽表總則

總 則	
犯罪ノ種別	<p>不行犯及 （法律ノ禁止スル所ノ者ヲ行フハ不行犯ニシテ法律ノ命令スル所ノ者ヲ行サルハ不行犯ナリ）</p> <p>即時犯及 （罪ヲ犯シテ多少ノ時間連續シ得ヘキモノアリ連續シ得サル者アリ）</p> <p>有意犯及 （刑アル故意ナルヲ有意犯ト云ヒ過失ニ因テ罰ヲ受クヘキモノヲ無意犯ト云フ）</p> <p>無意犯及 （刑法ニ載スル所ノモノヲ通常犯ト云ヒ軍事及ヒ獵漁關稅出板等ニ係ル特別ノ法律ニ觸ルハモノヲ特別犯ト云フ）</p> <p>國事犯及 （社會及政體ノ設立ニ關スル法ヲ犯シ直接ニ國ヲ害シ且之ヲ罰シテ政府ニ益アルモノヲ國事犯ト云フ）</p> <p>常事犯及 （一行以テ罰スルニ足ルヘキモノヲ單一犯ト云ヒ同種ノ所爲ノ多ク聯合ヲ要スルモノヲ慣行犯ト云フ）</p> <p>慣行犯及 （現ニ罪ヲ犯ストキ又ハ即今其犯ヲナシ終リタルト云フ）</p> <p>現行犯及 （現行犯ト云ヒ罪ヲ犯シテ後時日ヲ經タルモノヲ非現行犯ト云フ）</p>
法定ノ論罪即普通	<p>ノモノ立法官ノ制定セシモノ</p> <p>酌定論罪 （長短ノ期限又ハ減等情狀ヲ酌量シテ裁判官ノ定ム即各人ニルモノ）</p> <p>異ナル者</p> <p>瘖瘵者 （情狀ニ由テハ懲治場ニ留置）</p> <p>強 制 （人カト天災トヲ問ス）</p> <p>正當防禦</p> <p>本屬長官ノ命令</p> <p>知覺精神ノ喪失シテ是非ヲ解スル能ハサルモノ （情狀ニ因テハ懲治場ニ留置）</p> <p>二歳ニ滿タル幼者</p> <p>親族相盜 （親屬互ニ遺失物又ハ埋藏物ニ關スル罪ヲ犯セシ時親屬互ニ詐僞取財又受ハ寄財產ニ關スル罪ヲ犯セシ時身分ニ因テ加重スル場合即官吏又ハ自カラ任トシテ責罰スヘキモノ罪ヲ犯シタル時犯時ノ摸贖犯所共犯又ハ禁苑等ノ所）</p> <p>加等情狀 （テ責罰スヘキモノ罪ヲ犯シタル時犯時ノ摸贖犯所共犯又ハ禁苑等ノ所）</p> <p>宥恕減輕 （十二歳以上十六歳未滿辨識アル時減二等十六歳以上二十歳未滿減一等重罪輕罪十二歳以上十六歳未</p>

總 則	
論 罪	<p>ノモノ立法官ノ制定セシモノ</p> <p>酌定論罪 （長短ノ期限又ハ減等情狀ヲ酌量シテ裁判官ノ定ム即各人ニルモノ）</p> <p>異ナル者</p> <p>瘖瘵者 （情狀ニ由テハ懲治場ニ留置）</p> <p>強 制 （人カト天災トヲ問ス）</p> <p>正當防禦</p> <p>本屬長官ノ命令</p> <p>知覺精神ノ喪失シテ是非ヲ解スル能ハサルモノ （情狀ニ因テハ懲治場ニ留置）</p> <p>二歳ニ滿タル幼者</p> <p>親族相盜 （親屬互ニ遺失物又ハ埋藏物ニ關スル罪ヲ犯セシ時親屬互ニ詐僞取財又受ハ寄財產ニ關スル罪ヲ犯セシ時身分ニ因テ加重スル場合即官吏又ハ自カラ任トシテ責罰スヘキモノ罪ヲ犯シタル時犯時ノ摸贖犯所共犯又ハ禁苑等ノ所）</p> <p>加等情狀 （テ責罰スヘキモノ罪ヲ犯シタル時犯時ノ摸贖犯所共犯又ハ禁苑等ノ所）</p> <p>宥恕減輕 （十二歳以上十六歳未滿辨識アル時減二等十六歳以上二十歳未滿減一等重罪輕罪十二歳以上十六歳未</p>
不 論 罪	<p>親屬互ニ遺失物又ハ埋藏物ニ關スル罪ヲ犯セシ時親屬互ニ詐僞取財又受ハ寄財產ニ關スル罪ヲ犯セシ時身分ニ因テ加重スル場合即官吏又ハ自カラ任トシテ責罰スヘキモノ罪ヲ犯シタル時犯時ノ摸贖犯所共犯又ハ禁苑等ノ所</p> <p>加等情狀 （テ責罰スヘキモノ罪ヲ犯シタル時犯時ノ摸贖犯所共犯又ハ禁苑等ノ所）</p> <p>宥恕減輕 （十二歳以上十六歳未滿辨識アル時減二等十六歳以上二十歳未滿減一等重罪輕罪十二歳以上十六歳未</p>
罪狀ヲ變更	<p>十二歳以上十六歳未滿辨識アル時減二等十六歳以上二十歳未滿減一等重罪輕罪十二歳以上十六歳未</p>

ス可キ情狀

酌量減輕

滿者違警罪ヲ犯セシ時減一等
 重罪輕罪違警罪ヲ問ハス又法律ニ於テ本刑ヲ加減
 スヘキト否トヲ問ハス總テ所犯ノ情狀原諒スヘキ
 モノハ一等又ハ二等ヲ減ス
 未發自首減一等(但謀故殺ハ減輕セズ)自首シテ贓
 物損害ノ一部ヲ償還シタル者減二等自首シテ贓
 償還ノ全部ヲ償還シタル者減三等逕告者被告ノ
 推問ヲ始メサル前ニ自首シタル者

總則

死刑	無期徒刑	無期徒刑	有期流刑	有期流刑	重懲役	重懲役	輕懲役	輕懲役	禁錮	罰金	沒收	拘留	科料
三十年	廿五年	二十年	十五年	十年	七年	五年	一年	一年	一年	一年	一年	一年	一年

期滿免除ヲ得ヘキ刑名及期限

剝奪公權
 停止公權
 監視
 此等ハ附加刑トナルモノ

總則

復權
 公權ヲ剝奪セラレタル者ニ將來ノ公
 權ヲ復スル期限ヲ二段トス
 情狀ニ因リ復スル者ハ主刑ノ終リタ
 ル日(主刑ノ期滿免除ヲ得タル時ハ
 監視ニ付シタル日)ヨリ五年ヲ經過
 シタル後
 大赦特赦ニ因リ免罪ヲ得タル者ハ即
 時(但特赦ハ赦狀中特ニ記スニ非サ
 レハ之ヲ得ス)
 附タリ赦ニ因テ復權ヲ得レハ從テ
 監視ヲ免ス

刑法ニ於テ親屬ト稱スルモノ

第一級	祖父母父母
第一級	夫妻
第二級	子孫 子孫ノ配偶者
第三級	兄弟 姊妹
第三級	兄弟姊妹ノ配偶者

刑法ニ於テ親屬ト稱スルモノ

級 四 第	兄弟姉妹ノ子	級 七 第	配偶者ノ祖父母父母	級 十 第	配偶者ノ父母ノ兄弟姉妹
級 五 第	父母ノ兄弟姉妹 父母ノ兄弟姉妹ノ配偶者	級 八 第	配偶者ノ兄弟姉妹 配偶者ノ兄弟姉妹ノ配偶者	級 九 第	祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母同シ 父母ト稱スルハ繼父母姻母同シ 子孫ト稱スルハ庶子曾玄孫外孫同シ 兄弟姉妹ト稱スルハ異父母ノ兄弟姉妹同シ 養子其養家ニ於ル親屬ノ例ハ實子ニ同シ
級 六 第	父母ノ兄弟姉妹ノ子	級 九 第	配偶者ノ兄弟姉妹ノ子	級 十 第	兄弟姉妹ノ子ノ配偶者

死

刑

重 罪	天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルヲ目的トナシ内乱ヲ起シタル首魁及教唆者 政府ヲ變乱スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル教唆者及下手者 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交戦中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵ニ附屬シタル者 交戦中敵兵ヲ誘導シテ本國管內ニ入ラシメ若シハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者	暴動ノ際人ヲ殺死シ若シハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者 漁軍船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及其標識ヲ損壞シ燈臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ危險ナル障礙ヲ爲シ又ハ詐僞ノ標識ヲナシテ人ヲ死ニ致シタル者 豫シメ謀テ人ヲ殺シタル者 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ故殺シタル者 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐僞誘導シテ危害ヲ陷シ死ニ致シタル者
-----	---	---

死

謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者
支解折割其他慘刻ノ所爲ヲ以テ人ヲ故
殺シタル者

刑

衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載シタル
船舶ヲ覆没シ死亡アル者

無期徒刑

子孫其祖父母父母ヲ謀殺故殺シタル者
子孫其祖父母父母ニ對シ毆打創傷ノ罪
其他監禁脅迫遺棄誣告ノ罪ヲ犯シ因テ
死ニ致シタル者
子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セ
ズ其他必要ナル奉養ヲ缺キ因テ死ニ致
シタル者
強盜人ヲ死ニ致シタル者
火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シ
タル者
火ヲ放テ人ヲ乘載シタル船舶瀛車ヲ燒
燬シタル者

皇族ニ對シ危害ヲ加ヘントシタル者
內國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ
行使シタル者
官許ヲ得テ發行スル內國銀行ノ紙幣ヲ
偽造シタル者
御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用シ
タル者
監守者自カラ御璽國璽ノ影蹟ヲ盜用シ
タル者
詔書ヲ偽造シ又ハ増減變更シタル者
詔書ヲ毀棄シタル者

重罪

無

期

徒

刑

重

罪

偽証ノタメ被告人死刑ニ處セラレタル
偽証者
故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者
強姦ニ因テ死ニ致シタル者
子孫其祖父母父母ニ對シ毆打創傷ノ罪
其他監禁脅迫遺棄誣告ノ罪ヲ犯シ篤疾
ニ致シタル者
子孫其祖父母父母ニ對シ奉養及ヒ衣食
供給ヲ缺キ因テ篤疾ニ致シタル者
強盜婦女ヲ強姦シタル者
火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他ノ建
造物ヲ燒燬シタル者
堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人ノ
住居シタル家屋ヲ漂失シタル者
衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載シタル

船舶ヲ覆没シタルニ船中死亡ナキ時
瀛車船舶ノ往來ヲ妨害シ頓覆又ハ覆没
シタル者
有期徒刑 十二年以上
十五年以下
內國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽
造シテ行使シタル者
官許ヲ得テ發行スル外國銀行ノ紙幣ヲ
偽造シテ行使シタル者
阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販
賣シタル者
強姦ニ因テ癡篤疾ニ致シタル者
子孫其祖父母父母ニ對シ毆打創傷ノ罪
ヲ犯シ其他監禁脅迫遺棄ノ罪ヲ犯シ癡
疾ニ致シタル者
子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セ
ズ其他必要ナル奉養ヲ缺キ因テ癡疾ニ
致シタル者
幼者老若ヲ遺棄シ因テ死ニ致シタル者

無期流刑

國事犯ニ因テ群衆ノ指揮ヲナシ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者
本國及同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者
敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ藏匿シタル者

有期流刑

十二年以上十五年以下

國事犯ニ因テ群衆ノ指揮ヲナシ其他樞要ノ職務ヲ爲シ其情輕キ者
陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲナス者交戦ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賄遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ缺之ヲ致シタル者
外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者

重懲役

九年以上十二年以下

瀛車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル者
船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ燈臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐僞ノ標識ヲ點示シタル者
各官署ノ印ヲ僞造シ又ハ其僞印ヲ使用シタル者
人ヲ毆打創傷シ因テ死ニ致シタル者
自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者
幼者老疾者ヲ遺棄シ因テ篤疾ニ致シタル者
十二歳ニ滿タサル幼女ヲ強姦シタル者
火ヲ放テ廢屋及柴肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者
火ヲ放ツテ人ノ乘載セサル船舶瀛車ヲ燒燬シタル者
人ノ住居セサル家屋其他ノ建築物ヲ漂失シタル者

重罪

内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ變造シテ行使シタル者
幼者老疾者ヲ遺棄シ癡疾ニ致シタル者
產物商品等ニ押用スルノ記號印章ヲ僞造シ又ハ其僞印ヲ使用シタル者
重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ヲ却奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者
内國通用ノ銅貨ヲ僞造シテ行使シタル者
官ノ文書ヲ僞造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者
官ノ文書ヲ毀棄シタル者
公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ僞造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者

輕懲役

役

六年以上八年以下

爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書若クハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ僞造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者
阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者
官吏自ラ監守スル金穀物件ヲ竊取シタル者
十二歳ニ滿タサル幼女ヲ姦淫シタル者
人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ斷テ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメタル者
二十歳ニ滿タサル幼者ヲ略取誘拐シテ外國人ニ交付シタル者

重		輕	
<p>十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者 墮胎セシムルノ意ニ出テ懷胎ノ婦女ヲ 毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシ メタル者 兇器ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸宅ニ 入り竊盜ヲ犯シタル者 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷セシメ其財物ヲ 盜取シタル者 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強 取シタル者 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露 積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シ タル者 堤防ヲ決潰シ水圃ヲ毀壞シテ田圃礦坑 牧場等ヲ荒廢シタル者</p>		<p>天皇皇后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者 皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者 兇徒多衆テ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ諒 諭ヲ受ケルト雖モ仍ホ解散セル首魁者 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ 行政官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅 迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者 暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノナク可カラサル 事件ヲ行ハシメタル者 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ淫容若ク ハ言語ヲ以テ侮辱シタル者 官吏ノ目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫 又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者 己決ノ囚徒逃走シタル者 若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲 シテ逃走シタル者</p>	
<p>重 禁 獄 六年以上 八年以下</p>		<p>輕 禁 獄 九年以上 十一年以下</p>	
<p>處刑期限</p>		<p>處刑期限</p>	
<p>附加罰金</p>		<p>附加罰金</p>	

重		輕	
<p>天皇皇后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者 皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者 兇徒多衆テ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ諒 諭ヲ受ケルト雖モ仍ホ解散セル首魁者 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ 行政官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅 迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者 暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノナク可カラサル 事件ヲ行ハシメタル者 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ淫容若ク ハ言語ヲ以テ侮辱シタル者 官吏ノ目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫 又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者 己決ノ囚徒逃走シタル者 若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲 シテ逃走シタル者</p>		<p>天皇皇后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者 皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者 兇徒多衆テ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ諒 諭ヲ受ケルト雖モ仍ホ解散セル首魁者 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ 行政官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅 迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者 暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノナク可カラサル 事件ヲ行ハシメタル者 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ淫容若ク ハ言語ヲ以テ侮辱シタル者 官吏ノ目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖畫 又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者 己決ノ囚徒逃走シタル者 若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲 シテ逃走シタル者</p>	
<p>重 禁 獄 六年以上 八年以下</p>		<p>輕 禁 獄 九年以上 十一年以下</p>	
<p>處刑期限</p>		<p>處刑期限</p>	
<p>附加罰金</p>		<p>附加罰金</p>	

罪	輕
囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者	三月以上三年以下 二十圓以下
囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者	一年以上五年以下 五十圓以下
公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル者	一年以上一年以下 五十圓以下
監視ニ附セラレタル者其規則ニ違背シタル時	十六日以上六月以下
官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ヲ製造シタル者	二月以上二年以下 二百圓以下
前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者	一月以上一年以下 十圓以上百圓以下
道橋梁溝架淋埤ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者	二月以上二年以下 二十圓以下
電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者	三月以上三年以下 五十圓以下
晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ看守シタル建造物ニ入りタル者	十一月以上六月以下

罪	輕
夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ看守シタル建造物ニ入りタル者	一月以上一年以下
官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破壞シタル者	二月以上二年以下
陸海軍ノ徵兵ニ編入セラレ可キ者身體ヲ毀傷シテ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖リタル者	一月以上一年以下 三圓以上卅圓以下
内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ變造シテ行使シタル者	一年以上五年以下
内國通用ノ銅貨ヲ變造シテ行使シタル者	一年以上三年以下
書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ僞造シ又ハ其僞印ヲ使用シタル者	一年以上三年以下
官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及郵便切手ヲ僞造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者	一年以上五年以下 五十圓以下
他人ノ私印ヲ僞造シテ使用シタル者	六月以上五年以下 五十圓以下
賣買貸借其他權利義務ニ關スル証書ヲ僞造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者	四月以上四年以下 四十圓以下

輕		罪	
其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變更シテ行使シタル者	一月以上一年以下	二圓以上廿圓以下	
官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者	一月以上一年以下	四圓以下	
屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者	十五日以上六月以下	二圓以下	
公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病證書ヲ偽造シテ行使シタル者	一月以上一年以下	三圓以上卅圓以下	
重罪ヲ曲庇スル爲メ偽証シタル者	二月以上二年以下	四圓以下	
輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽証シタル者	一月以上一年以下	二圓以上卅圓以下	
重罪ニ陷ラシムルタメ偽証シタル者	一年以上五年以下	五十圓以下	
輕罪ニ陷ラシムルタメ偽証シタル者	六月以上二年以下	四十圓以下	
違警罪ニ陷ラシムルタメ偽証シタル者	一月以上三月以下	二圓以上十圓以下	

輕		罪	
民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲシタル者	一月以上一年以下	五十圓以下	
度量衡ヲ偽造シ又ハ變更シテ販賣シタル者	一年以上五年以下	五十圓以下	
商賈農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者	一月以上三月以下	二圓以上廿圓以下	
阿片烟ヲ吸食シタル者	一年以上三年以下		
阿片烟及吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者	一月以上一年以下		
人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フル能ハサルニ至ラシメタル者	十一月以上以下	二圓以上五圓以下	
人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者	一月以上一年以下	三圓以上卅圓以下	
賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結シタル者	三月以上一年以下	十圓以上百圓以下	
財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者	一月以上六月以下	五十圓以下	
財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者	一月以上六月以下	五十圓以下	

罪	輕
埋葬スヘキ死屍ヲ毀棄シタル者	一月以上一年以下
墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者	二月以上二年以下
因テ死屍ヲ毀棄シタル者	三月以上三年以下
偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物ノ賣買ヲ妨害シタル者	一月以上六月以下
偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者	十五日以上三月以下
偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者	十五日以上三月以下
農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲナシタル者	一月以上六月以下
雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲナシタル者	一月以上六月以下

罪	輕
逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セズシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル者	十五日以上三月以下
司獄官吏程式規則ヲ遵守セズシテ囚人ヲ監禁シ若シハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者	十五日以上三月以下
前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者	三月以上三年以下
裁判官檢察官及警察官吏被告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ凌虐ノ所爲アル者	四月以上四年以下
官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽計シタル者	一月以上一年以下
裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽計シタル者	二月以上二年以下
裁判官檢察官警察官吏刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽計シタル者	二月以上二年以下
因テ被告人ヲ曲庇シタル者	三月以上三年以下
其被告人ヲ陷害シタル者	二年以上五年以下

刑名便覽表輕罪

罪	輕
其情ニ徇ヒ又ハ怨ヲ挾カミ被告人チ曲庇 陷害シタル者	二年以上五年以下
租税其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏正數 外ノ金穀ヲ徵收シタル者	二月以上四年以下
人チ毆打創傷シ其面目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ 又ハ一肢ヲ折リ其他身体ヲ殘廢シ癱疾ニ 致シタル者	二年以上五年以下
人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ 罹リ又ハ職業ヲ營ムコト能ハサルニ至ラシ メタル者	一年以上三年以下
其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者	一月以上一年以下
疾病休業ニ至ラスト雖モ身体ニ創傷ヲ成 シタル者	十一月一日以下
擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者	十一月一日以下
擅ニ人チ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲 食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタ ル者	二月以上二年以下
人チ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタル 家屋ニ放火セント脅迫シタル者	一月以上六月以下
毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ 財産ニ放火シ及毀壞劫掠セント脅迫シタ ル者	十一月一日以下
懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎シ タル者	一月以上六月以下
藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者	一月以上六月以下
因テ婦女ヲ死ニ致シタル者	一年以上三年以下
懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑騙シテ墮胎セ シタル者	一年以上四年以下
懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他暴行ヲ加 ヘ因テ墮胎ニ至ラシタル者	一年以上五年以下
八歳ニ滿タサル幼者ヲ遺棄シタル者	一年以上一年以下
自ラ生活スルコト能ハサル老若疾病者ヲ遺 棄シタル者	一年以上一年以下
八歳ニ滿タサル幼者又ハ老疾者チ寮閤無 人ノ地ニ遺棄シタル者	四月以上四年以下
自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄 セラレタル幼若老疾者アルヲ知テ之ヲ 扶助セス又ハ官署ニ申告セサル者	六月五日以下

二十

罪	輕
毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ 財産ニ放火シ及毀壞劫掠セント脅迫シタ ル者	十一月一日以下
懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎シ タル者	一月以上六月以下
藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者	一月以上六月以下
因テ婦女ヲ死ニ致シタル者	一年以上三年以下
懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑騙シテ墮胎セ シタル者	一年以上四年以下
懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他暴行ヲ加 ヘ因テ墮胎ニ至ラシタル者	一年以上五年以下
八歳ニ滿タサル幼者ヲ遺棄シタル者	一年以上一年以下
自ラ生活スルコト能ハサル老若疾病者ヲ遺 棄シタル者	一年以上一年以下
八歳ニ滿タサル幼者又ハ老疾者チ寮閤無 人ノ地ニ遺棄シタル者	四月以上四年以下
自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄 セラレタル幼若老疾者アルヲ知テ之ヲ 扶助セス又ハ官署ニ申告セサル者	六月五日以下

廿一

刑名便覽表輕罪

罪		輕	
若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルヲ知テ扶助セス又ハ申告セサル者	十五日以上 六月以下		
十二歳ニ滿サル幼者ヲ略取シ又ハ誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者	二年以上五年以下	十圓以上 百圓以下	
十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ略取シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者	一年以上三年以下	二十圓 以下	
其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者	六月以上二年以下	二十圓 以下	
十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲナシタル者	一年以上一年以下	二十圓 以下	
十二歳ニ滿タサル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲナシタル者	二月以上二年以下	四十圓 以下	
十六歳ニ滿タサル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者	一年以上六月以下	二十圓 以下	
有夫ノ婦姦通シタル者及其相姦スル者	六月以上二年以下	五十圓 以下	
配偶者アル者重テ婚姻ヲ爲シタル者	六月以上二年以下	五十圓 以下	

罪		輕	
公然ノ演説ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者	三十日 以下	三十圓 以下	
書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作爲シテ人ヲ誹毀シタル者	十五日以上 六月以下	五十圓 以下	
醫師藥商穩婆又ハ代言人辯護人代書人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知り得タル陰私ヲ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ	三十日 以下	三十圓 以下	
子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セス其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者	十五日以上 六月以下	二十圓 以下	
人ノ所有物ヲ竊取シタル者	二月以上四年以下	二十圓 以下	
水火震災其他ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ犯シタル者	六月以上五年以下		
田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ產物ヲ竊取シタル者	一年以上一年以下		
山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取シ又川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ關スル產物ヲ竊取シタル者	一年以上一年以下		
遺失及漂流ノ物品ヲ拾ヒ得テ隱匿シ所有主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者	三十日 以下		

罪		輕	
他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ掘得テ隱匿シタル者	十一月一日以下	三月以下	以上
家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル者	二月以上四年以下	二月以上四年以下	以下
家資分散ノ際牒簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者	一月以上二年以下	一月以上二年以下	以下
人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物若クハ証書類ヲ騙取シタル者(詐欺取財)	二月以上四年以下	二月以上四年以下	以下
幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯乱シタルニ乘シテ其財物若クハ証書類ヲ授與セシメタル者	二月以上四年以下	四月以下	以上
物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者	詐偽取財ヲ以テ論ス		
他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物ト爲シタル者			
自己ノ不動産ト雖モ已ニ抵當典物トナシタルヲ欺隱シテ他人ニ賣與シ又ハ重テテ抵當典物トナシタル者			

罪		輕	
受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金銀物件ヲ費消シタル者	一月以上二年以下	四月以下	以上
其若シ騙取拐帶其他詐欺ノ所爲アル者	二月以上四年以下	四月以下	以上
自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者	一月以上六月以下	四月以下	以上
強姦盜ノ贓物ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者	一月以上三年以下	三月以下	以上
詐偽取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者	十一月一日以下	二月以下	以上
火放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者	二月以上二年以下	二月以下	以上
他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ隄防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者	二年以下	二月以下	以上
人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者	一月以上五年以下	二月以下	以上
人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ園地ノ裝飾又ハ田圃ノ樊園牧場柵欄毀壞シタル者	十一月一日以下	三月以下	以上
人ノ稼穡竹木其他ノ需用ノ植物ヲ毀損シタル者	十一月一日以下	三月以下	以上

輕		罪	
土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者	一月以上六月以下	二圓以下	上
人ノ器物ヲ毀棄シタル者	十一月以下	二十圓以下	上
人ノ牛馬ヲ殺シタル者	一月以上六月以下	二十圓以下	上
人ノ權利義務ニ關スル證書類ヲ毀棄滅盡シタル者	二月以上四年以下	三十圓以下	上
監 視 ○チ附スルモノニハ主刑トナル	處刑期限		
皇室ニ對スル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者	六月以上二年以下		
○内乱ノ豫備又ハ陰謀ヲナスト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ官ニ自首シタル者	六月以上三年以下		
内乱ニ關スル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者	六月以上二年以下		
○貨幣ヲ偽造變造シ及輸入收受シタル者未タ行使セサル前ニ官ニ自首シタル者	六月以上三年以下		
官印ヲ偽造スル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者	六月以上二年以下		

輕		罪	
官ノ文章ヲ偽造スル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者	六月以上二年以下		
貨幣ヲ偽造スル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者	六月以上二年以下		
私印私書ヲ偽造スル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者	六月以上二年以下		
官吏財産ニ對スル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者	六月以上二年以下		
強盜ノ罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者	六月以上二年以下		
放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者	六月以上二年以下		
輕 禁 錮	處刑期限	附加罰金	
國事犯ノ教唆ニ乘シテ附加施行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者	二年以上五年以下		
内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ集會所ヲ給與シタル者	二年以上五年以下		
外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者	六月以上三年以下		

輕	罪
犯人又ハ逃走ノ囚徒及監規ニ付セラレタル者アルヲ知テ之ヲ藏匿シ若クハ隠避セシメタル者	十一月一日以下 二十圓以上
他人ノ罪ヲ免カレシメシムルヲ圖リ其罪ト證ト爲ル可キ物件ヲ隠蔽シタル者	十一月一日以下 二十圓以上
陸海軍將校タルモノ出兵ヲ要求ス權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル者	二月以上二年以下 五十圓以下
官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勳ヲ章僭用シタル者	十五日以上 二十圓以下
公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者	一年以上一年以下 二圓以上廿圓以下
賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲナシタル者	二月以上二年以下 三圓以上卅圓以下
投票ヲ検査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ之ヲ増減シタル時	六月以上三年以下 四十圓以下
調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所爲アル時	一年以上五年以下 五十圓以下

輕	罪
傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者	一月以上一年以下 二十圓以下
傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他處ニ出テタル者	十五日以上 十圓以上百圓以下
獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者	二十一日以上 五十圓以下
官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セズ又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者	二月以上六月以下 五十圓以下
兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スル權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ其處分ヲナサハル者	三月以上三年以下 百圓以下
官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ヲ侵害シタル者	二十一日以上 二十圓以下
人ノ身体財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫審判事檢察官吏其報告ヲ受ケテ速カニ保護ノ處分ヲナサハル者	三十日以下 二十圓以下

刑名便覽表輕罪

輕		罪	
兇徒嘯聚ニ附和隨行シタル者	兇徒嘯聚官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲナスニ附和隨行シタルモノ	看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル者	重罪ノ刑ニ處セラレタル者ニ係ル時ハ官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ヲ私ニ所有シタル者
看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	兇徒嘯聚ニ附和隨行シタル者	看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル者	重罪ノ刑ニ處セラレタル者ニ係ル時ハ官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ヲ私ニ所有シタル者
看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者
看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者
看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者	看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル者

輕		罪	
醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサルモノ	裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ變造ナルヲ知テ之ヲ行使シタル者
傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者
傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者
傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者
傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者	傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナシテ之ヲ肯セサル者

刑名便覽表輕罪

罪	輕
規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者 官許ヲ得スシテ醫業ヲ爲シタル者 公然猥褻ノ所行ナシタル者 風俗ヲ害スル冊子圖書其他猥褻ノ物品ヲ 公然陳列シ又ハ販賣シタル者 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬 ノ所爲アル者 若シ說教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者 虛偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需用 物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者 官吏規則ニ違背シテ商業ヲナシタル者 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セス過失ニ 因テ人ヲ死ニ致シタル者 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癱篤疾ニ致シタル 者 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラシ ノケル者	十圓以上百圓以下 十圓以上百圓以下 三圓以上卅圓以下 四圓 以上 四圓 以下 二圓以上廿圓以下 四圓 以上 四十圓 以下 十圓以上百圓以下 二十圓 以上 五百圓 以下 二百圓 以上 二百圓 以下 十圓以上百圓以下 二十圓 以上 五十圓 以下

罪	輕
火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及園池ノ裝飾又ハ 田圃ノ樊園牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者 人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタ ル者 人ノ家畜ヲ殺シタル者 人ノ器物ヲ毀棄シタル者	二圓以上廿圓以下 二十圓 以上 二十圓 以下 三圓 以上 三十圓 以下 二圓以上廿圓以下 二圓以上卅圓以下

明治十五年四月廿四日版權免許
全 年五月出版

愛媛縣士族
講解者 中島信行

芝區南佐久間町一丁目二番地
岐阜縣平民

出版人 和田篤太郎
全區新櫻田町十番地

各府縣

西京 同坂
大同 同坂
大坂 同坂
同 同

田中治兵衛
藤井孫兵衛
柳原喜兵衛
前川善兵衛
松村九兵衛
岡田茂兵衛

大坂 同
同 同
尾州名古屋 同

岡島真七
前川源七
小谷卯八
萬屋東
梶田勘助
石版社

各府縣書林以名

發賣書肆

尾州名古屋半田	小栗太郎兵衛	豆州肥田村	柿島宇吉
美濃大垣	岡安慶助	同三嶋	小西又三郎
同岐阜	三浦源助	同下田	平野屋久七郎
同伊勢津	東林三郎	同蝶夕野	九屋喜兵衛
同參州岡崎	小林三郎	同松崎	內田桂兵衛
同豐橋	本屋文吉	同小田原	松野忠兵衛
同駿州靜岡	高須又八	同相州三浦	米屋忠兵衛
同	玉水屋正兵衛	同藤澤	伊勢屋治郎兵衛
同	佐藤俊次	同厚木	竹川新四郎
同	吉見義一	同伊勢原	川上九兵衛
同	青木榮二	同三浦	釜屋清兵衛
同	米山定昌	同武州橫濱	山田淺二郎
同	廣瀬市造	同溝ノ口	愛甲屋忠兵衛
同	小松浦吉	同八王子	高梨與左衛門
同	小藤房吉		吉川伊兵衛
同	內藤傳右衛門		伊勢屋梅藏
同	富田秀實		武藏屋磯助
同	荻原繁吉		小町屋德二郎
同	五明堂庄八		

各府縣下

同八王子	高島惠藏	同吉井	酢屋定七
同所澤	森田林七	同安中	千卷屋喜平治
同青梅	大黒屋佐兵衛	同太田	和泉屋房次郎
同	根岸新兵衛	同桐生	長岡屋波太郎
同	松葉八郎右衛門	同沼田	竹內藤吉
同	大塚文喜	同富岡	山田屋金兵衛
同	博屋才右衛門	同伊勢崎	塚田清三郎
同	萬屋本治郎右衛門	同野州榎木	水田文二郎
同	榎本治郎右衛門	同中野條町	治田清三郎
同	文心堂源作	同野州榎木	川木屋平吉
同	井崎上公	同野州榎木	永井貞次郎
同	黒崎長三郎	同野州榎木	小池貞八郎
同	島屋喜三郎	同野州榎木	菅谷甚平
同	煥乎堂支店	同野州榎木	小葉儀右衛門
同	報告社支店	同野州榎木	小葉儀右衛門
同	松野屋貞吉	同野州榎木	永樂屋吉造
同	糸野屋太吉	同野州榎木	武藤清兵衛
同	錢屋菊次	同野州榎木	釜屋喜兵衛
同	宮杉祐七	同野州榎木	和洋商社

肆書賣發

下野足利 同 相場左衛門 同 下妻 同 高木清次郎 同 鹿嶋 同 日野屋佐七郎 同 太田内堀丁 同 宮田雲 同 沼尻茂兵衛 同 松枝悅三郎 同 杉浦平右衛門 同 近江屋平吉 同 博田支吉 同 岸田文吉 同 蜷川國藏 同 文明堂次郎 同 小野修三 同 酢屋安兵衛 同 小山卯三郎 同 多谷左衛門 同 三河善八 同 新井政司 同 井上伊三郎 同 紅雲堂

各府縣下

上總本納 同 木屋太吉 同 千葉 同 花岡屋伊助 同 成東 同 野田 同 積善堂金藏 同 小瀧 同 佐倉 同 中井藤右衛門 同 佐貫町 同 結城 同 長島屋平八 同 鶴舞 同 八日市場 同 石割一七屋 同 大塚源左衛門 同 松屋茂兵衛 同 岡野利兵衛 同 岡屋吉左衛門 同 阪本利兵衛 同 高木直助 同 飯田直助 同 石井藤七 同 青木國二 同 土屋勘兵衛 同 東屋勘二郎 同 菊地儀助 同 同 千葉 同 立岡屋伊助 同 同 野田 同 積善堂金藏 同 同 佐倉 同 中井藤右衛門 同 同 長島屋平八 同 同 結城 同 長島屋平八 同 同 八日市場 同 同 石割一七屋 同 同 大塚源左衛門 同 同 松屋茂兵衛 同 同 岡野利兵衛 同 同 岡屋吉左衛門 同 同 阪本利兵衛 同 同 高木直助 同 同 飯田直助 同 同 石井藤七 同 同 青木國二 同 同 土屋勘兵衛 同 同 東屋勘二郎 同 同 菊地儀助

發賣書肆

同	陸奧弘前	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	陸奧弘前	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	陸奧弘前	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

陸奧弘前	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
陸奧弘前	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
陸奧弘前	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

各府縣書林八名

八

各府縣

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

東京	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
東京	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
東京	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

各府縣書林八名

九

發賣書肆

東京 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

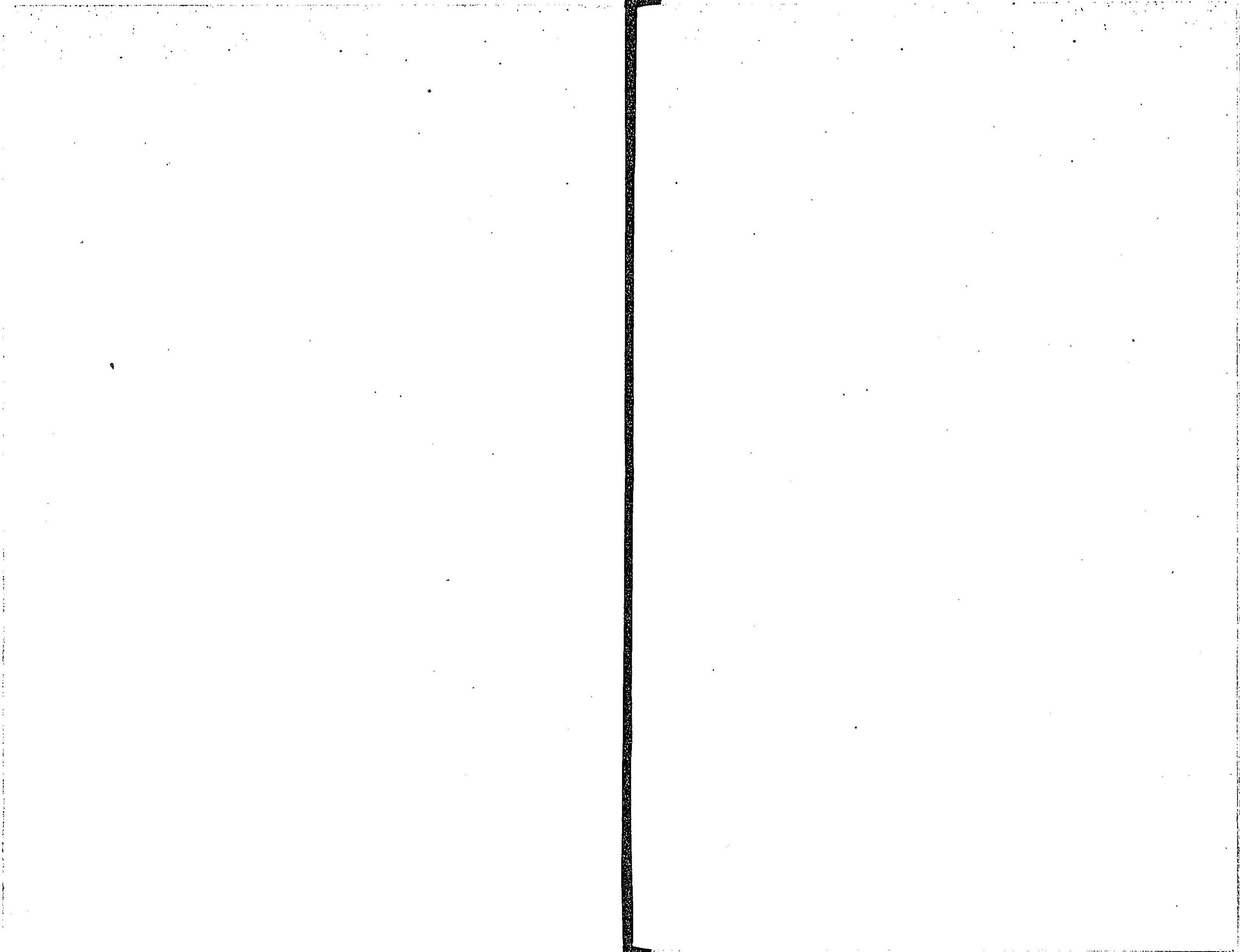
牧野吉兵衛
內田彌兵衛
萬字堂重光
別所平七
開新社內合翠閣
有隣舍翠閣
礪々隣舍翠閣
法木德兵衛
須原鐵二
兎屋鐵二
栗田信太
稻田佐吉

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

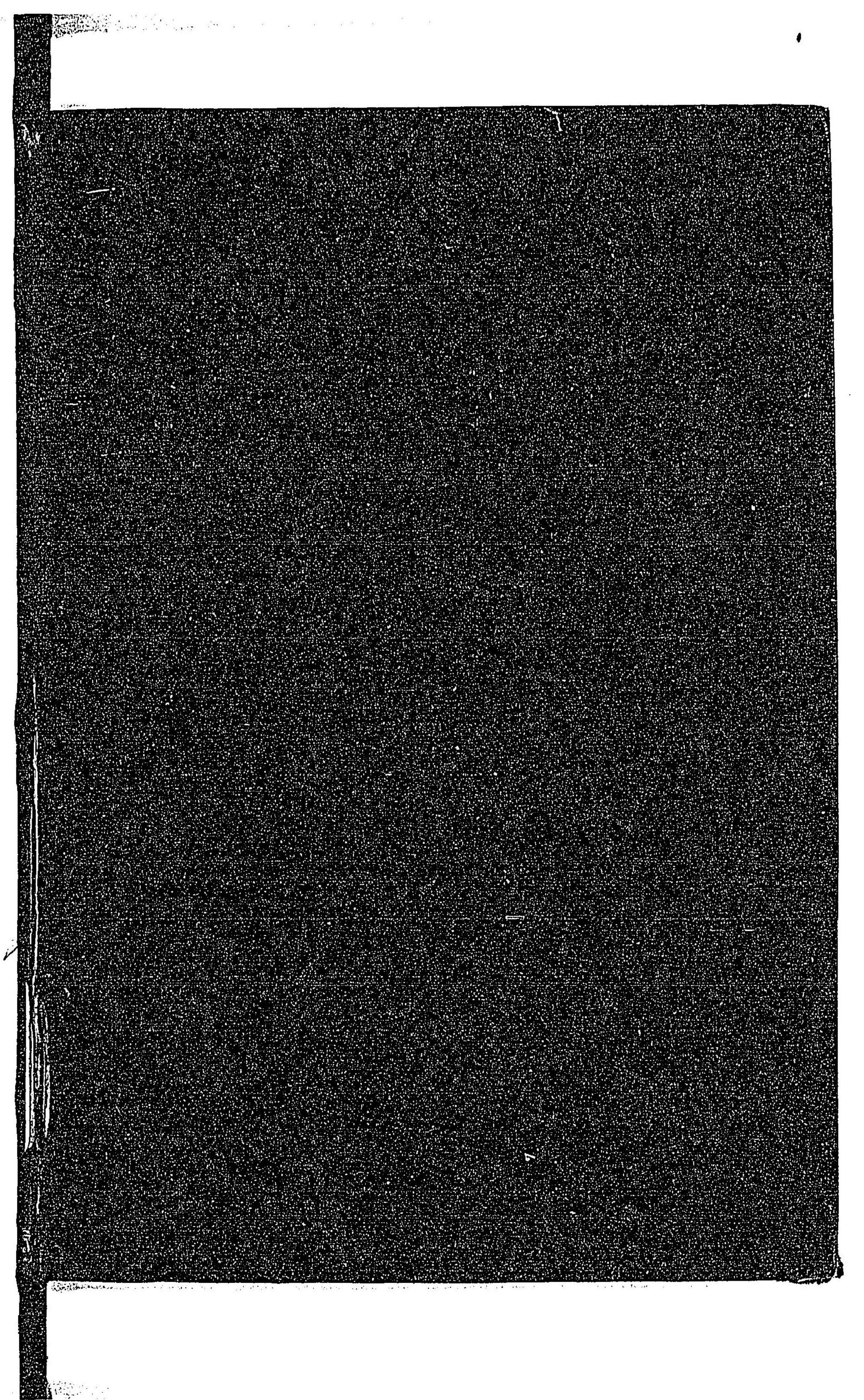
深野彌兵衛
深澤三兵衛
上田榮三
島村利兵衛
磯部太郎兵衛
高崎文兵衛
郁市文兵衛
山中喜兵衛
山中孝兵衛
春陽之助
堂助郎衛堂助衛

○治罪法講解

定價二十八錢續出



33
66



33

66

035708-000-1

33-66

刑法講解

中島 信行/著

M15

BBP-0278



